

SHIKOKU

四国

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 地区誌

No.4

4.5.6 2026 年第134 号
令和 8 年 6 月 25 日 発行



We Serve

Index

- 1 感謝の三年間
- 3 第 72 回 地区年次大会徳島大会を振り返って
- 地区役員挨拶
- 4 地区ガバナーエレクト・第二副地区ガバナー
- 5 地区名誉顧問会議長・地区キャビネット幹事
- 6 地区キャビネット会計・地区コーディネーター
- 10 リジョン・チェアパーソン
- 12 ゾーン・チェアパーソン
- 17 アクティビティ報告
- 18 常設委員会
- 21 周年記念式典
- 28 高松がらん LC 認証状伝達式
- 情報
- 29 336-A 地区会員現況
- 30 物故会員・編集後記
- 表紙4 第 73 回 地区年次大会のお知らせ



昇竜の滝(香川県)

撮影：5R-1Z 綾歌郡LC 村山好治様

<https://lci336a.org>

感謝の三年間

Lions Clubs International Multiple District 336, District 336-A
District Governor

Kazuhito Mukai



ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区
地区ガバナー

向 和人



私の336-A地区ガバナーへの道のりは、高知キャビネットにて、山崎 勝彦地区ガバナー、石井 淑雄第一副地区ガバナーとともにスタートいたしました。当初は右も左も分からない状態での出発でしたが、皆さまの丁寧で温かいご指導のおかげで、次第に楽しさとやりがいを感じられるようになりました。

二年目の坂出キャビネットでは、石井 淑雄地区ガバナー、篠原 孝尚第二副地区ガバナーとともにガバナーチームを組み、かねてより名誉顧問会議で議題に上がっていた「336-A地区分割」を掲げ、第71回地区年次大会にて選挙を実施いたしました。結果は否決となりましたが、この挑戦が地区内に新たな刺激をもたらしたことは確かであり、四国地区の将来を考える大切な機会となりました。

私たちが目指したのは、四国を二つに分断することではなく、四国地区に二つの準地区を設け、複合地区として独立を目指すという構想でした。しかし「分割」という言葉だけが一人歩きし、誤解を招いてしまったことは、私自身の説明不足であり大変申し訳なく思っております。

大きな変革には、丁寧な説明と理解、そして時間が必要であることを痛感いたしました。それでも、この課題は四国地区のより良い運営のために、今後も向き合うべき重要なテーマであると確信しております。中国・四国の二地区で構成される336複合地区の現状を踏まえれば、「四国は一つ」という考え方のもと、四国複合地区への移行は、より自然で分かりやすい形であると感じております。この一年は、私にとって大変学びの多い時間となりました。

そして今期、金谷 光人第二副地区ガバナーを迎え、昨年7月15日の国際大会にて、山崎 勝彦前地区ガバナー、石井 淑雄地区ガバナーに見守られながら、無事地区ガバナー就任が決まり、徳島キャビネットがスタートいたしました。

今期のガバナー目標は、会員数5,000名、LCIF50万ドル。

これは「5,000名 × 一人100ドル」で達成できる全員参加型の目標です。誰か一人の高額寄付ではなく、皆さまの少しずつの思いが集まって大きな力となることを示すものです。まだ達成には至っておりませんが、引き続きご協力をお願い申し上げます。

この目標を掲げながら、ガバナー公式訪問、周年クラブ訪問、新会員入会例会訪問など、木内 緑幹事、山崎 律子会計とともに1台の車で地区内を駆け巡りました。その道中では、複合地区や四国地区の課題、会員拡大、LCIF、第72回地区年次大会、奉仕活動など、多くのテーマについて語り合い、考え続けた一年でした。

各リジョン・ゾーン・クラブを訪問するたび、会員の皆さまの温かい歓迎に心を打たれ、お酒を酌み交わしながら交わした言葉の数々は、私にとってかけがえのない友情となり、大切な思い出となりました。

第72回地区年次大会では、354-D地区より金 容喆総裁をはじめ30名の皆さまにご参加いただき、華を添えていただきました。そして大会を大盛況のうちに終えることができたのは、徳島県内クラブの皆さまの献身的なご協力の賜物です。心より感謝申し上げます。

唯一、残念であったのは、第二副地区ガバナーを選出できなかったことですが、今期内的選出に向けて引き続き取り組んでまいります。

目を閉じれば、この三年間、四国地区で私に関わってくださったすべての方々のお顔が思い浮かびます。楽しいことばかりではなく、苦しいこともありました。そのたびに「頑張れよ」と声をかけてくださった皆さまの存在が、私を前へと進ませてくれました。心から感謝申し上げます。

次期、国際大会まで、336-A地区のために全力で邁進してまいります。

本当にありがとうございました。



第72回 地区年次大会を振り返って

地区年次大会統括委員長 三 居 誠



まずもって徳島大会に1,207名のご登録ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。何かと至らない点はあったと思いますが、無事最後までやりきることが出来ました。本当にありがとうございました。

振り返りますと、まず4月4日記念ゴルフ大会からスタートしました。あいにくの雨に見舞われましたがレオマ高原ゴルフクラブ、サンピアゴルフクラブの2会場で早朝よりスタートしていただき無事開催に至りました。夕刻より行われた354-D地区との日韓親善国際交流のタベでは、354-D地区の皆様が悪天候で飛行機の着陸が出来ずに、四国の皆様との交流がかなわず残念ではありましたが、オープニングアクトを皮切りに徳島少年少女合唱団による素晴らしい演奏や阿波踊りで前夜祭として皆様でお楽しみいただけました。何とか無事その日のうちに354-D地区メンバーが徳島に入ることができキャビネット役員と食事をする事が出来ました。

4月5日9時、前日の天気とは打って変わって晴れ間の中阿波銀ホールにて指名選挙よりライオンズクラブ国際協会336-A地区第72回年次大会徳島大会がスタートしました。次に分科会です。第1分科会ではmission1.5の取り組み、地区シェアリング、第2分科会では薬物乱用防止教室や献血活動、第3分科会ではYCE国際関係やアラート関係など様々なライオンズ活動についての学びを得ました。代議員総会では出席代議員378名の選挙により次期地区ガバナーに篠原孝尚氏が次期ガバナーに決定しました。第一副地区ガ

バナーが金谷 光人氏に決定されました。第二副地区ガバナーは選出なしの為議案発言なしとなりました。

その後昼食会場では徳島の食、徳島ラーメンや鳴るちゅうどん、フィッシュカツや様々な徳島の食を堪能いただき徳島の食文化を楽しんでいただけたと思います。飲料ブースにおきましては売上金の一部をLCIFにさせていただいたと同時に会場でのLCIFBOXにおきましても沢山のドネーションをありがとうございました。

メインであります大会式典では私の下手な入場ソングでの向 和人ガバナー入場から始まり各表彰、次期ガバナー・次期第一副地区ガバナー入場更にはライオンズクラブ国際協会336-A地区第73回年次大会開催地発表で大会式典が滞りなく終了することが出来ました。終了後すぐさま会場をJRホテルクレメント徳島に移りガバナー晩餐会スタートです。前日交流の出来なかった354-D地区のメンバーとの交流、336-A地区内での交流お酒を交えて楽しいひと時徳島の文化である阿波踊りを会場全体で楽しみ本当に楽しい晩餐会でした。

一年間年次大会の役員の皆様、ホストクラブの皆様と様々な議論を重ねて準備をさせていただきましたが、期待に沿えなかった点もあると思います。ただ自分自身ライオンズクラブ活動に深くかわらせていただき自己成長になったと思います。大変貴重な経験をさせて頂きました。今後のライオンズ活動にしっかりと生かしていきます。本当にありがとうございました。





■ 一年を振り返り

地区ガバナーエレクト **篠原 孝尚** (新居浜ひうち)

2023～2024、山崎勝彦地区ガバナーの高知での第70回年次大会が開催されました時に、第二副地区ガバナーに選任いただき2年間石井前地区ガバナー、向地区ガバナーのもとお二人は勿論のこと地域又は各クラブを見て参りました。坂出キャビネットでは、ベテランのガバナー・幹事・会計の御三方の下、しっかりと学ぶことができ、この時期にガバナーチームに入れた事が成長にも繋がったと思います。

会議・懇親会が終わると、丸亀や高松に出て行った事がついこの前のような気がします。私はお酒を飲みませんが、いつも気が付けばみんな帰って向地区ガバナーと二人だけになっていることがしばしば、複合の会議は岡山でありましたが、そこでも岡山の人達は誰も居なくなり向地区ガバナーと二人だけの状態が続いていた訳ですが、ライオンズのバッジを付けて夜の街へ出る事によって元気なライオンズクラブのPRにもなったのではと、良い思い出としています。そして、二副の時から同期となる35人のセミナーが始まりました。ガバナーになる時の国際大会の場所が香港ということで、香港会と称したグループラインもでき、35人で意見交換や情報共有をして仲良くしています。また、二副の時は色々なクラブの

例会訪問ができて沢山の方との出会いや沢山の意見を聞くことができた充実した一年でありました。

第一副地区ガバナーになり、向地区ガバナーのガバナースローガン「輝く未来へウィサープ」ガバナーキーワード「魅力」の下、前年度に続けて各クラブの訪問をと考えていたのですが、研修やセミナーが怒涛の勢いで開催される、併せての課題提出もあり他のことが何も出来ない状態に、ここに時間を費やして地区の為になるのだろうか?と思う日が多くなりました。

今期は徳島キャビネットですが、周年事業が多く、又、日程が重なっている事が多々ありガバナー代理として参加させていただくこともありました。周年と合わせて新会員3名以上でお祝いに駆け付けているのを見てみると、向地区ガバナーも大変だなと思いつつも人と会って意見を交わす事の大切さを更に痛感しました。徳島キャビネットから、ペーパーレス化に向けた取組みや年次大会でのステージ上のレイアウト変更等と改革に向けての先駆けとなったのではと思います。良かった所、悪かった所を見聞きし、少しずつ改善しながら次期へと引き継いでいきたいと思っています。



■ 一期一会と未来への決意

第二副地区ガバナー **金谷 光人** (四万十)

人口2,000人ほどの高知県西部の小さな地域で事業を営んでいた私が、この度、336-A地区の次期第一副地区ガバナーという、身に余る重責を担わせていただくこととなりました。

就任を前にした今、胸にこみあげるのは、この一年間の活動を通じて得た言葉では言い尽くせないほどの感動と、これからの地区運営に対する身の引き締まるような使命感です。

この一年、たくさんのクラブへ訪問させていただき、また高知県内のクラブへは全て伺わせていただきました。そして、たくさんの方たちとの出会いがあり、「人生は、人との出会いで変わる」よく耳にする言葉ですが、私にとっては正にこの一年はそれを身をもって実感する日々でした。

それまでの私は、自身の事業や地域のコミュニティという「一つの完成された世界」の中で生きてまいりました。しかし、ライオンズクラブという大きな組織のなかで、多種多様な業種、異なるバックグラウンドを持つ方々と出会い、志を同じくして奉仕の喜びを共にするなかで、私の視界・思考は大きく変わり、「ここは考え方を正さなくてはならない」と反省し、また「自分の進んできた道はまちがってなかった」と確信を得るなど、一喜一憂の連続でした。異業種のリーダーたちが持つそれぞれの考え方や、地域を想う情熱に触れるたび、私の脳裏には新しいアイデアが次から次へと思い

浮かび、これまで自分自身が知っていた世界がいかに限定的であったかを痛感したとともに、また、「無限の可能性」を覚えた一年でもありました。

特に印象深いのは、クラブを訪問させていただいたときの皆様の温かい笑顔は何ものにも代えがたい喜びでした。また、この笑顔が無駄にしたいくないという決意にも変わった瞬間でした。

各地のクラブをめぐる中で切実な声も耳にしました。急速に進む会員の高齢化、LCIFへの更なる理解浸透の難しさ、そして次世代を担う役員のなり手不足等。これらは、決して一部のクラブの問題ではなく、私たちの組織全体が直面している課題です。

温かい歓迎を受ければ受けるほど、「この温かな絆を、次世代にどう繋いでいくべきか」と自らに問い直し、皆様からいただいた真心の重さは、そのまま私が背負うべき職責の重さであると確信しております。次期第一副地区ガバナーとして、私はこれらの課題から目を逸らすことなく、ガバナーチームの一員として真正面から向き合う覚悟です。小さな地域から始まった私の歩みが、地区全体の発展に寄与する大きな流れとなるよう、誠心誠意、職責を全うする所存です。

今後とも、皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



■ 充実した1年を回顧して

地区名誉顧問会議長

石井 淑雄 (坂出白峰)

2025年7月17日 米国フロリダ州オーランド国際大会閉会式、向ガバナーエレクトのエレクトリボンを会場高く振り上げた瞬間、今まで静寂を装っていた会場が一瞬にして歓喜の渦に包まれました。向地区ガバナーの就任を、誰はばかりことなく“向さんガバナー就任おめでとう”と何度も叫ばせてもらいました。

この素晴らしい時を共有できたことは、一生の思い出となりました。と同時に徳島キャビネットが本格的に稼働し、向地区ガバナーのとてつもなく忙しい日々が始まりました。

向さんのガバナー就任の一方、私は静かに地区名誉顧問会議長としての任務がスタートしました。

名誉顧問会は主として地区内の調和を図り、地区ガバナーの諮問に応える機関であります。その主旨に則り、年4回の地区名誉顧問会議、キャビネットの一員として地区キャビネット会議にも参画し、課題解決に尽力するお役目です。ここ数年キャビネット会議に出席していますが、キャビネットが何処になろうと変わらないのが素晴らしい人材の多さであります。336-A地区の盤石さが表れています。

更に楽しいのが各種大会であります。

徳島大会は、伝統を重んじつつ新たな試みにチャレンジしたことは誠に見事でありました。成長の原点はチャレ

ンジにあることを真に証明した訳であります。

354-D地区年次大会はいつもハラハラドキドキの連続ですが、両地区の絆は変わらず更に更に強固に進化していると思います。そしていつも癒されるのは心のこもったおもてなしに接するからでしょうか。来期も楽しみます。

加えて周年記念式典、懇親会も多くのクラブからご案内をいただきました。友情を育む絶好の機会が周年であり、合同例会であります。今期も前期同様、坂出キャビネット森崎幹事、河崎会計と常に3人で訪問させていただきました。

皆様に心よりお礼を申し上げます。

リジョン会議、ガバナー諮問委員会も良きリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンに恵まれ円滑に開催されリジョン並びにゾーンの発展に大きく貢献されました。心より感謝申し上げます。

この様に充実した時間を過ごさせていただきましたのも、一重に会員皆様のご理解とご支援の賜であります。皆様に深甚なる敬意を表し感謝申し上げます。

結びに次期篠原ガバナー、金谷第一副地区ガバナーのご活躍を心よりご祈念申し上げますと共に336-A地区の更なる発展を乞い願い、御礼のご挨拶と致します。



■ ありがとうございます

地区キャビネット幹事 木内 緑 (徳島すだち)

この一年間、キャビネット幹事として多くの方々と出会い、ふれあい、時間をともに過ごす中で、私にとって大切な経験がたくさん生まれました。皆さまとの関わりの中でいただいた言葉やお気持ち、いつも私の励みになっていました。

振り返れば、戸惑うことも多かった私に周りの皆さまが温かく支えてくださいました。いただいた励ましは、今も忘れられない大切な記憶となっております。未熟な私に自信と勇気を与えてくださった皆さまに、あらためて心より感謝申し上げます。

そして、向地区ガバナーよりこのような貴重なチャンスをいただきましたこと、深く感謝しております。向地区ガバナー、山崎会計との三役で過ごした数々の時間は、私にとってかけがえのない思い出であり、支えであり、学びの源でした。ともに悩み、語り合い、笑い合いながら歩んだ日々は、今後の私のライオンとしての姿勢を形づくる大切な財産となりました。

キャビネットとは、クラブと国際協会をつなぐ橋渡しであり、そして何より、ガバナーの思いを形にすることこそが幹

事の役目であると、私はそうのように考えておりました。その役目を果たすために、必死に悩み、考え、走り続けた一年でございました。至らぬ点も多くあったと感じておりますが、それでも前へ進むことができたのは、336-A地区の皆さまの温かいご支援のおかげです。

この一年は、私にとってのライオンズクラブのあり方を考える大変貴重な時間となりました。人との付き合い方、言葉のかけ方、支え合うということの意味、多くの学びをいただきました。そして、多くの方々と出会えたこの絆を、これからも大切に育んでいきたいと心から願っております。

いただきました経験を決して無駄にすることなく、これから一会員として、引き続き地区の発展に微力ながら尽力してまいります。次期、新居浜キャビネットの皆さまのご活躍と、地区のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。これからもライオンとしての誇りと歩みを大切にしながら、活動を続けてまいりたいと存じます。



■ 徳島キャビネット会計としての一年を振り返って

地区キャビネット会計 **山崎 律子** (徳島すだち)

2025年7月、向和人地区ガバナーのもと、木内幹事とともに徳島キャビネットの一員として歩み始めて以来、会計として過ごしたこの一年を静かに振り返っております。

就任当初は、その責任の重さに身の引き締まる思いでした。しかし、経験することがすべて初めてのことであり、与えていただいたこの機会を楽しみながらやっていこうと気持ちを切り替えてスタートいたしました。公式訪問や年次大会、周年記念をはじめとする諸行事を重ねるなかで、会計の役割は単なる収支管理にとどまらず、地区運営を支える大切な基盤であることを、あらためて深く実感するようになりました。数字の向こうには多くの奉仕活動があり、そこには会員の皆様の思いが込められていることを忘れることなく、誠実に向き合うよう努めてまいりました。

ガバナースローガン「輝く未来にウィサーブ」、そしてガバナーキーワード「魅力」のもと、徳島キャビネットは未来を見据えつつ、次のステージへの備えを担っていたのだと感じております。表に出る機会は多くありませんでしたが、円滑な地区運営に欠かせない務め的一端を担えたことは、私にとって大きな誇りでした。

この一年を通して学んだのは、分かりやすく伝えるこ

と、先を見通して備えること、そして周囲と心を合わせながら物事を進めることの大切さを、強く実感いたしました。数字を扱う務めでありながら、その根底には人と人とのつながりや信頼があることを学べたことは、私にとって何より大きな財産です。

この一年の任務を無事に全うすることができたのは、向地区ガバナーをはじめ、木内キャビネット幹事、構成員の皆様、事務局の皆様、そして各クラブの皆様の温かいご支援のおかげです。折に触れていただいた先輩方からのご助言や励ましのお言葉には、何度も背中を押していただきました。会計という役目は、決して一人で果たせるものではなく、多くの方々との信頼のうえに成り立つものであるということ、あらためて深く感じました。

任務を終えた今、無事に務めを果たすことができた安堵と、このような貴重な役目を担わせていただいたことへの深い感謝の思いでいっぱいです。この経験を今後にも生かし、微力ながら引き続きライオンズの奉仕の輪の中でお役に立てればと思っております。

336A地区の皆様のさらなるご発展と、各クラブの活動がより実り豊かなものとなりますことを心よりお祈り申し上げます。任務を終えてのご挨拶といたします。



■ 一年間を振り返って

元地区ガバナー・地区名誉顧問

地区 GLT コーディネーター

地区 GMA 副リーダー

真鍋 隆 (こんぴら)

今期はGAT(グローバル・アクション・チーム)、GMT、GLT、GST、GET、WYPTを活用して会員増強、拡大を推進していくことに加えて、ミッション1.5が達成できるようにGMT(グローバル・メンバーシップ・チーム)の具体的な方策として会員増強に特化した戦略であるGMA(グローバル・メンバーシップ・アプローチ)の4年目を向かえ、各単一クラブに理解していただき実行する年度でした。

- ①新クラブ結成により地区の若返りを図る。
- ②新会員を加えてクラブの活性化を図る。
- ③仲間との親睦と興味深い奉仕ができていくか等、会員の満足度を高めてやる気を一新させ会員増強を推進する為にクラブ会長は会員にアンケート調査を実施する。

結果として、①については新クラブ結成が1クラブ(2026年4月28日、高松がらんLC)。しかし、合併を含め6月末には2クラブが解散予定です。(野村LC、徳島藍LC)②については各単一クラブに新会員を必ず迎え、クラブの活性化へと訴えてまいり、4月末では361名の新入会員を迎えることとなりました。しかし、ご逝去された方を含め339名の退会者があり純増22名となっています。残念なことには会員の高齢化が進み、物故会員も多くなっているのが現状です。③については会員満足度アンケート調査が浸透し、会員の希望する例会のあり方や奉仕活動内容を見直し改革したことで、入会や退会防止に繋がっているクラブも

見受けられました。会員の種別や多様性についても理解度が増しているようです。

GLT(グローバル・リーダーシップ・チーム)では指導力育成研究会の講師として全てのリジョンに参加させていただきました。また、新会員オリエンテーションの講師として4R、5R、6R、7Rに参加をしました。特に時間とスペースがとれる会場ではワークショップを実施しました。リーダーシップについて熱心に話し合い、参加者からは意見交換できる会が良かった、又、今こそリーダーシップが大切であるとの声もお聞きし、次世代リーダーの発掘の一助となった実り多い会となりました。リーダーシップの極めは次のリーダーを養成することです。

今年度も残りわずかとなりましたが、毎年6月末(年度末)の退会者数が懸念されます。会員の種別を活用したり、会員一人ひとりが居心地よく活動できるクラブづくりが退会防止になると思いますので、会員増強と維持に今後も取り組んでくださるようお願い致します。

結びにガバナーをはじめ、徳島キャビネット構成員の皆様、地区委員、クラブ役員の皆様方には大変ご苦勞様でした。この経験を活かして単一クラブの未来の為に更には地区の発展の為に、是非ご尽力をお願い申し上げます。大変お世話になり、心から感謝しています。ありがとうございました。



■ LCIF への理解に感謝

元地区ガバナー・地区名誉顧問

地区 LCIF コーディネーター

高岡 英治 (松山湯築)

LCIF で最も大切なのは、すべてのライオンズ会員に、LCIF が世界中でいかに素晴らしい活動をしていて、人類にとって、どれだけ重要な課題に挑戦しているのか、ということをご理解いただき賛同し、共鳴していただくことであります。

今期、向地区ガバナーの運営基本方針では、LCIF によりライオンズクラブの今がある、と言っても過言ではありません。LCIF は各地域や全世界の困っている場所、人々に届く金銭アクトです。LCIF の寄付金は100%が被災地域や人道支援に使われています。336-A 地区の今期目標は50万ドルです。会員一人100ドルを目標にします。そして、LCIF シェアリングの活用も促してまいります。と言われて一年を過ごしてまいりました。

今年度は、地区ガバナーが多忙で多くの業務遂行がある為、LCIF コーディネーターの兼務を外しています。向地区ガバナーの指導の下、地区 LCIF コーディネーターを選任して、協力し合って業務にあたりました。

地区コーディネーターとして、今期の活動方針は、

1. LCIF への寄付が、ゼロのクラブを無くする。
2. 地区ガバナーの寄付目標を達成する。
3. 地区全会員が一人100ドルの寄付をするように願います。
4. シェアリング交付金を活用する。
5. 各種 LCIF 関連の資料・情報を会員に伝える。

でありましたが、項目によっては、ガバナーの掲げた目標に届かず、あと少しの段階まで到達していました。

そして、今期も「100 / 100 クラブ」表彰を推進したいと考えていました。今年度は、坂出白峰 LC、四国中央法皇 LC、松山道後 LC、松山湯築 LC、徳島すだち LC が表彰されました。正会員及び終身会員が全員一人100ドル寄付したことを LCIF 課に申告いたしました。(支部会員も対象となります。) クラブの活性化・事業活動として考えられたことと思われまします。また、「LCIF 写真コンテスト」に応募していただき、感謝申し上げます。

そして、地区およびクラブシェアリング交付金申請は、6 件の申請書が提出されています。今期、発表されたシェアリング交付金申請可能額の変更は以下の通りです。

クラブ寄付額(今年度中)

5,000ドル以上の寄付	15%を交付金として利用可
10,000ドル以上の寄付	20%を交付金として利用可
20,000ドル以上の寄付	30%を交付金として利用可

となりました。

向地区ガバナーの指導の下、LCIF を通じて私たちが一人でも多くの困っている人々に手を差し伸べることが出来ました。会員皆様のご支援ご協力を感謝申し上げます。



■ 会員拡大 (GMT) について

地区 GMT コーディネーター

立道 健司 (徳島城山)

コーディネーターを拝命し活動した一年を振り返ると、会員拡大の難しさと、その中に確かに存在する可能性の大きさを改めて実感した一年でありました。広大な四国という地域特性上、各クラブが置かれている状況は実に多様であり、会員数の増減だけでは測れない背景があることを痛感しました。一方で、地域に根ざした奉仕の価値を丁寧に伝えることで、新たな仲間が加わっていき、ライオンズクラブの持つ力と魅力を再確認する機会にも恵まれました。

まずはクラブの現状を正しく知ろうと、地区内各クラブの会員数・種別の月次把握をはかり女性会員、家族会員、支部会員等の推移を調査させて頂きました。各クラブにはお手数をお掛け致しましたが、ご協力頂き、感謝申し上げます。会員の高齢化、活動の固定化、後継者不足など、課題は決して小さくありません。しかし、どのクラブにも共通していたのは「奉仕への情熱」であり、その思いをどう次世代へつなぐかが GMT の使命であると再認識しました。特に若い世代や女性会員の参画を促す取り組みでは、クラブの雰囲気づくりや活動内容の見直しが重要であることを共有し、実際に変化を生み出したクラブも多く、地区全体の前向きな動きを感じることができました。

また、会員拡大は単独で完結するものではなく、GLT・GET・GST・WYPT との連携が不可欠であることを改めて実感しました。奉仕活動の魅力が伝われば自然と入会への関心は高まり、学びの機会が充実すれば会員の定着率も向上します。336-A 地区として、各委員会と協働しながらクラブ全体の活性化を図ることが、会員拡大の基盤となることを強く感じた一年でありました。

もちろん、思うように成果が出なかった場面もあり、力不足を痛感することもありました。しかし、その度に多くの皆さまから温かい助言やご協力をいただき、共に前へ進むことができたことは大きな励みとなりました。会員拡大は「数字」ではなく「人のつながり」であり、その積み重ねこそがライオンズクラブの力であると改めて感じています。

立場は変わりますが、奉仕の心を未来へつなぐため、皆さまと共に歩み続け、地域に愛されるクラブづくり、そして仲間が自然と集まる魅力ある組織づくりに向けて努力を重ねていこうと考えています。

今後共、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。この一年間、336-A 地区の皆さまに支えて頂きながら活動できたことに深く感謝申し上げます。



■ 地区 GST コーディネーターとして一年を振り返って

地区GSTコーディネーター **長尾 和彦** (高松源平)

地区 GST コーディネーターを拝命してから約一年。この一年を振り返りますと、各クラブの皆様が地域社会のために真摯に奉仕へ取り組まれる姿に触れ、改めてライオンズクラブの力強さと温かさを実感した一年でありました。就任時に掲げた「魅力ある奉仕事業を通じてクラブの活性化を図り、新たな仲間を迎え入れる」というテーマのもと、奉仕の質を高め、会員拡大につながる環境づくりを目指して活動を進めてまいりました。

特に力を入れてきたのは、各クラブのニーズを丁寧に把握し、満足度の高い奉仕事業の情報を収集・整理して共有する取り組みです。地区内外の成功事例を学び、クラブの規模や地域性に応じた実践的なアイデアを提供することで、奉仕活動の幅が広がり、会員の皆様により主体的に活動へ参加される姿が見られるようになりました。また、国際会長の「ミッション1.5」の達成に向け、地区ガバナーの方針を支えるべく、GAT

コーディネーター、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、クラブ奉仕委員長の皆様と連携し、会員拡大に向けた機運醸成にも努めてまいりました。

さらに、地区内でのセミナー開催や資金獲得活動の支援を通じて、クラブ同士のつながりが強まり、奉仕への誇りと所属意識が一層高まったことも大きな成果であります。こうした活動の積み重ねにより、奉仕の魅力が地域社会へより広く伝わり、新たな仲間を迎える土壌づくりにもつながったと感じております。

この一年の歩みは、ひとえに各クラブの皆様のご理解とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。今後も、奉仕の満足度向上を軸に、クラブの活性化と会員増強に寄与できるよう、引き続き努力してまいります。どうぞ変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



■ 奉仕の輪を未来へつなぐ、一年を振り返って

地区GETコーディネーター **川田 博文** (高松がらん)

この度、2025年度ライオンズクラブ国際協会におきまして、GETコーディネーターという大役を無事に務め終えることができました。

一年間にわたり、多くの皆様から温かいご支援、ご協力を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

GET (Global Extension Team) は、単なる会員増強を目的とするものではなく、「新たなその仲間づくり」「次世代への継承」「地域に必要とされるクラブづくり」という、ライオンズクラブの未来を支える大切な使命を担っております。

活動を通じ、各クラブの皆様が地域社会のために真摯に奉仕へ取り組まれている姿に触れ、改めてライオンズクラブの持つ力の大きさと、「われわれは奉仕する」という理念の尊さを深く実感した一年でございました。

特に、新クラブ結成や会員拡大への取り組みにおきましては、多くのご理解とご尽力を賜りました。決して平

坦な道のりばかりではございませんでしたが、その都度、地区役員の皆様、各リジョン・ゾーンの皆様、そしてクラブ会長をはじめ会員の皆様に支えていただき、一歩ずつ前へ進むことができました。

また、この役職を通じて、多くの素晴らしい出会いと学びをいただけたことは、私自身にとりましても大変貴重な財産となりました。クラブの垣根を越えて語り合い、共に悩み、共に未来を考えた時間は、今後のライオンズ活動においても大きな糧になるものと確信しております。

今後も一ライオンとして、「われわれは奉仕する」の精神を大切にしながら、微力ではございますが、地区発展と地域社会への奉仕に努めてまいります。

結びに、この一年間、GETコーディネーターとして活動する機会を与えてくださいましたすべての皆様に、改めて深甚なる感謝を申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。



■ 一年を振り返って

地区WYPTコーディネーター 公文菜穂 (高知鏡川)

皆さま、一年間ありがとうございました。

このたび、WYPTコーディネーターとしての役職を終えるにあたり、「一年を振り返って」という題で、ご挨拶を申し上げます。

この一年、WYPTコーディネーターとして活動させていただく中で、改めてライオンズクラブの魅力や、人と人とのつながりの大切さを実感する機会となりました。WYPTの役割である、女性会員・若手会員の増強、そしてヘッドネーション活動の促進を通して、多くの学びと出会いをいただけたことに、心から感謝しております。

就任当初は、「どのようにすればライオンズクラブの魅力や若い世代や女性の方々に伝えられるのか」を常に考えていました。時代とともに価値観や生活スタイルが変わる中で、奉仕活動への関わり方も変化しています。しかし、その中でも「誰かのために行動したい」という思いは、世代を超えて変わらないものだと感じました。

実際に活動を進める中で、若い会員の皆さまが新しい視点や行動力を持って積極的に参加して下さる姿や、女性会員の皆さまが細やかな気配りと温かさでクラブを支えて下さる姿に、たくさんの刺激をいただきました。そして、「参加してよかった」「もっと活動してみたい」という声を聞けた時は、本当に嬉しく、この役職を務めてよかったと感じました。

また、ヘッドネーション活動では、多くの方々の優しさに

触れることができました。髪を寄付するという行動は、一見小さなことのように見えるかもしれませんが、その髪が医療用ウィッグとなり、必要としている子どもたちの方々の笑顔や自信につながっていくことを思うと、一人ひとりの思いやりが大きな支えになっているのだと改めて感じました。活動にご協力くださった皆さまには、心より感謝申し上げます。

もちろん、すべてが順調だったわけではありません。初めての大役でわからないことも多く悩んだことや、思うように進まなかったこともありましたが、そのたびに周囲の皆さまが支えてくださり、励ましの言葉をかけてくださいました。

この経験は、私にとって大きな財産です。WYPTコーディネーターとして学んだことを、これからもライオンズクラブ活動の中で生かしていきたいと思っております。

最後になりますが、一年間支えてくださった地区役員の皆さま、各クラブの皆さま、そして活動に関わってくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。今後も女性や若い世代がさらに活躍できるライオンズクラブとなり、ヘッドネーション活動の輪が広がっていくことを願っております。

一年間本当にありがとうございました。

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 副幹事

一年間お世話になりました



副幹事・事務局長
佐藤 貢
(徳島すだち)



副幹事・事務局次長
忠津 裕久
(徳島すだち)



副幹事・事務局次長
吉成 博史
(徳島すだち)



副幹事・事務局補佐
長船 徳子
(徳島すだち)



副幹事・副会計
大津 光江
(阿南)



副幹事・
地区年次大会統括委員長
三居 誠
(徳島すだち)



副幹事・GAT・GMA・
会則・mission1.5担当
池田 昌樹
(高松葵)



副幹事・M・地区誌・
Digital 担当
副幹事・青少年・LCIF・
ライオンズクエスト担当
庄野 享
(徳島やまもも)



副幹事・環境保全・
保健福祉担当
藤田 清人
(徳島マリニピア)



副幹事・YCE・国際関係・
ライオンズレオ担当
齋藤 翠
(石井)



副幹事・WYPT 担当
本多 隆子
(徳島すだち)



副幹事・アラート担当
原田 和典
(鴨島)



副幹事・アラート担当
原田 和典
(鴨島)

■事務局長： 湯浅 富貴代 魚井 美佐

輝く未来へウィサーブ

Region Chairperson

リジョン・チェアパーソン



この1年を振り返って

1R-RC
白方 基進 (松山東)

昨年5月に就任の挨拶を書かせていただき早1年が過ぎました。不安と重責の中、リジョン・チェアパーソンとしての責務を果たしていく中で、キャビネットの皆様のご指導と地区役員、地区委員さんの協力のもと諸会議を含むすべての運営がスムーズに運びましたこと、感謝申し上げます。

また、1リジョン17クラブの例会訪問に参加をすることで、新たな発見や勉強をさせていただきました。向キャビネットの皆様とガバナー公式訪問や合同例会、周年と何度も松山の地へ足を運んでいただき親交も深めることができました。

この1年で私自身ライオンズクラブの多くのことを学ばせていただき感謝申し上げますとともに、この貴重な体験を少しでも多くのクラブに還元させていただきたいと思います。

1年間キャビネットの皆様、地区役員、地区委員、1リジョンのクラブの皆様、本当にありがとうございました。



一年を振り返って

2R-RC
篠原 悟 (四国中央法皇)

新居浜レオクラブが新居浜LCにより新居浜東高校で結成され全生徒700名超が参加という規模に驚きました。教育界から新しい風がライオンズクラブへ吹いているのかも知れません。この流れがFC今治高等学校里山校とのマッチングを実現させ、FC今治レオクラブ、YCEベース構築の可能性が考えられます。YCEベースはYCE生の受け入れをレオクラブが担うというプロジェクトです。40年前、四国各県でアイバンクが設立されましたが、実動は愛媛アイバンクのみです。愛媛アイバンクは336A地区の至宝です。松山東ライオンズクラブが愛媛アイバンク設立以来40年間、多額の寄付をされている事に敬意を表します。今期からの愛媛アイバンク第2回理事会には新旧のライオンズクラブ理事が参加可能となり、年度のズレが解消され、さらに献眼活動に貢献できると思います。この一年間、皆様の御尽力と御協力に衷心より感謝申し上げます。



永遠の活動を目指して

3R-RC
松浦 司 (鬼北)

ライオンズクラブ国際協会336-A地区3RCとしての一年を振り返り、一言ご挨拶を申し上げます。

この一年を顧みますと、各クラブの皆様におかれましては、それぞれの地域に根ざした奉仕活動に精力的に取り組まれ、多くの成果を上げられている事に、深い敬意を表します。環境保全活動、青少年育成支援、地域福祉の充実など、多岐に渡る活動を通じて、「We Serve」の精神が着実に地域社会に浸透している事を実感いたしました。

今年度、15年振りに「3R合同親善チャリティゴルフ大会」を開催するなどリジョン内の連携強化にも力を注ぎました。クラブ間の情報共有や相互協力を促進する事で、単独では成し得ない事業にも取り組む事ができ、組織としての結束が一層深まった一年であったと感じております。また、所属クラブ鬼北LCでは、3R初の「鬼北LC花衣クラブ支部」を結成し、会員増強に力を入れ、新たな組織運営を模索しております。

一方で、過疎化・高齢化が顕著となる中、クラブ運営や存続が厳しい現状にあり、会員数の維持・増強や次世代リーダーの育成といった課題も改めて浮き彫りとなりました。これらの課題に対しては、引き続き柔軟な発想と行動力をもって取り組んでいく必要があると考えております。

私自身、この一年を通じて多くの学びと気づきを得る事ができました。これもひとえに、各クラブ会長を始めとする会員の皆様、関係各位の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

結びに、ライオンズクラブのさらなる発展と、皆様のご健勝・ご活躍を祈念申し上げ、一年を振り返ってのご挨拶とさせていただきます。



一年を振り返って～第2副地区ガバナー推薦を通して～

4R-RC
多田 登美子 (高松西)

まずは、第2副地区ガバナー推薦に際し、4リジョンとして円滑に推薦を決定し、地区へお繋ぎすべきところ、結果として調整が整わず、混乱を招く形となりましたこと、4Rリジョン・チェアパーソンとして深くお詫び申し上げます。推薦に至る過程では、様々な意見やお立場がありましたが、最終的に一つにまとめ切れなかったことは、私自身の力不足であり、責任を重く受け止めております。現在は、キャビネットに於いて協議いただいておりますが、関係各位にご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを、深くお詫び申し上げます。今後は、4リジョンとしては、地区運営の混乱を招かぬよう、誠意をもって対応し、信頼回復に努めて参る所存でございます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

私自身87歳という年齢の中で4R-RCの大役を仰せつかり、皆様大変ご迷惑とご心配をおかけ致しましたが、お陰様で、多くの皆様に助けて頂きながら、何とか最後まで務めることが出来ました。21クラブの例会訪問や、8クラブが周年の節目を迎えられ、挨拶文などに苦勞も致しましたが、改めてライオンズクラブの友情と奉仕の尊さを実感することが出来た一年でもございました。

最後になりましたが、一年間、支えて下さった4R地区役員・委員の皆様はじめお世話になった、全ての皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



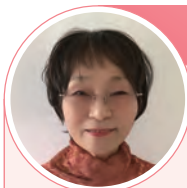
「一年を振り返って」

5R-RC
津山 聖司 (綾歌郡)

昨年7月の就任以来8月3日の向ガバナー始め、キャビネット役員の皆様の出席を頂き、まなべ結婚式場でのガバナー公式訪問に始まり、リジョン会議3回、ゾーン会議3回、新会員オリエンテーション2回、LT・TT・各委員長スクール、リーダーシップ研究会、薬物乱用防止教育認定講師・認定養成講座、坂出白峰ライオンズクラブ結成60周年、うたづライオンズクラブ20周年記念、全14クラブ例会訪問等多くの会

議や式典に出席させて頂きました。特に西山地区委員の努力により、20年ぶりに4R・5R合同によるライオンズクエスト勉強会が開催できました。将来のライオンズクエスト研修会の開催に役立つものだと思います。最重要課題の会員増強・LCIF・MJF献金も、純増20名、全14クラブ参加の700万円以上、MJF25名の皆様の献金を頂き、目標達成ができました。全14クラブ会員の皆様の努力に感謝申し上げます。

最後に一年間ご指導頂きました石井前ガバナー、真鍋元ガバナーに感謝申し上げ一年間の活動報告とさせて頂きます。ありがとうございました。



一年を振り返って

6R-RC
三谷 英子 (高知桜)

とにかく私に務まるか不安いっぱいスタートでした。向ガバナーを始めキャビネットの皆様のご指導、そして3人のゾーン・チェアパーソンと各地区委員の皆様のご指導とご協力には感謝しかありません。

例会訪問は、どれも个性的で大変勉強になりました。イベントにも積極的に参加させて頂きましたが、老若男女、3世代が仲良く集う楽しい雰囲気、ライオンズ家族の仲の良さをひしひしと感じました。

組織や世代を超えて、地域ぐるみで開催する行事には、実際に中核となって活躍している方たちがなんと多いことか…「ライオンと呼ばれる人」そのままに、一人何役もこなし、地域でなくてはならない存在の会員さんの地道な活動に心を打たれました。

東西150キロの6Rに課題はいろいろありますが、ライオンズとしての誇りを胸に「輝く未来」を信じて頑張る会員さんに、希望や元気をいただきました。

14クラブの皆様へ心から感謝申し上げます。



一年を振り返って

7R-RC
山本 隆心 (高知鏡川)

この一年間、7R-RCという大役を仰せつかり、微力ながら務めさせて頂きました。

向 和人地区ガバナーをはじめとするキャビネットの皆様と7リジョンの役員、委員の皆様、そして各クラブの皆様のおかげで務めることができました。振り返ってみるとこの一年、さまざまな事業がありました。8月のガバナー公式訪問から始まり、1~3回の諮問委員会、新会員オリエンテーションにリーダーシップ研究会などが挙げられます。この間にリジョン会を開催したり、クラブ式典や例会訪問の案内をいただくとう出席したりと多忙な時期がありました。その甲斐あって多くの会員の皆様と歓談ができ、親睦を深めることができ尊い時間になりました。

7R-1ZC、2ZC、3ZCは実に的確に動いてくれましたし、地区委員も各々の委員長の指示の下、積極的に取り組んでいただき、大変頼もしい地区役員、委員に恵まれ感謝の気持ちでいっぱいです。

あと残すところ1ヶ月少しですが、最後まで気を抜かず次期RCにバトンを渡したいと思います。

一年間、ありがとうございました。



この1年を振り返って

8R-RC
豊永 寛二 (徳島マリニピア)

今期でのもっとも大きな出来事は、8Rと9Rが新たに8Rとなり3ゾーン制に移行したことでした。昨年の第2回ガバナー諮問委員会からはじまり、紆余曲折を経て3月中旬にはまとまりました。長池ZC、眞貝9R-RCをはじめとして皆様には大変お世話になりました。岡本大介次期RCを始め、次期地区役員・地区委員の皆様のご活躍に期待しております。

8R・9R合同でガバナー公式訪問を行ったことや、8Rチャリティーゴルフもサンピア、眉山の2会場も好評で、40万円を徳島フードバンクに寄附でき良かったと思います。

また、心に残っているのは濱野雅司講師が何か頼まれたら「喜んで」と、ライオンズは「好きでやりますから」という言葉で、私もモットーにしたいと思っています。

そして、両ZC、各地区委員の皆様と各クラブの例会訪問は楽しい思い出ばかりで、一緒に時間を共有できたことも本当に良かったです。

1年間お世話になりました。



8,9リジョンの会員の皆様に感謝の一年

9R-RC
眞貝 浩司 (板野)

336-A地区9Rリジョン・チェアパーソン退任にあたりご挨拶申し上げます。

リジョン・ゾーン編成に際しましては、各クラブの皆様より暖かいご理解とご協力を賜り、スムーズに体制を整えることができました。

また、日々のクラブ運営においても、皆様の積極的なご参加と支えにより、多くの活動を実りあるものとすることができました。

この一年は、皆様とともに歩む中で多くを学び、来生ライオンズムの力を改めて実感する貴重な時間となりました。心より感謝申し上げます。今後も徳島のライオンズクラブがさらに発展し続けることを願っております。

魅力

Zone Chairperson

ゾーン・チェアパーソン



一年を振り返って

1R-1ZC
山本 太平 (松山城山)

向 和入地区ガバナーのスローガン「輝く未来へウィサーブ」、キーワード「魅力」の運営方針の下、1R-1ZCに就任して早一年が過ぎようとしています。

ライオンズクラブの普遍的テーマである、会員拡大、社会奉仕、指導力育成、LCIFを基本として活動するにあたり、各クラブの会長さんをはじめ会員の皆様には大変お世話になりました。また、白方1RC、竹岡2ZC、近藤3ZC、各地区委員の皆様とは、協力し共に活動出来た事に感謝いたします。

ZCとして、委員長スクール、リーダーシップ研修会、新会員オリエンテーションと、お話をさせてもらう機会がありました。その中で私は一番に各クラブのアクティビティに積極的に参加してみたいと願いました。普段の例会や委員会では見えてこない、人々や子ども達、体の不自由な方との交流を通じて、ライオンズとは何なのかがわかってきます。また、共に活動する会員同士の親睦にもつながり、ライオンズ活動が楽しくなってきます。それこそが会員退会防止になり、そこでの人々とのふれ合いが会員増強にも繋がってくるのです。

向地区ガバナーをはじめとする徳島キャビネットの皆様、気さくな方々ばかりで楽しい一年を過ごせました。厚く御礼を申し上げます。

会員の皆様一年間ありがとうございました。



【学びと感謝の一年】

1R-2ZC
竹岡 秀起 (松山湯築)

この一年を振り返りますと、多くの方々との出会いや交流を通して、改めて地域活動の大切さを感じた一年でした。様々な行事や活動に参加させていただく中で、準備や運営の大変さを知るとともに、皆さまと協力しながら一つのことをやり遂げる喜びを実感することができました。

また、経験豊富な先輩方から多くの助言や励ましをいただき、自分自身にとっても大変学びの多い一年となりました。時には思うように進まないこともありましたが、その度に周囲の支えのありがたさを強く感じました。

こうして充実した活動ができましたのも、日頃より支えてくださる会員の皆様と各クラブのおかげです。心より感謝申し上げます。

今後も感謝の気持ちを忘れず、少しでも地域のお役に立てるよう努力してまいります。



感謝を力に、志を次代へ繋ぐ一年

1R-3ZC
近藤 淳 (松山南)

今期、1R-3Zゾーン・チェアパーソンという大役を拝命し、「Mission 1.5」の推進、LCIF献金の目標達成、そしてゾーン内5クラブの連携強化を最重点課題に掲げて駆け抜けてまいりました。

特に印象深いのは、2026年3月に7年ぶりの開催を実現した「1R-3Z合同例会」です。クラブの垣根を越え、171名もの会員が交流を深める姿に、ゾーンの強い絆を再確認いたしました。

LCIF献金においては、5クラブ中3クラブの目標達成となりましたが、ゾーン全体では1人当たり100ドルを上回る実績を残すことができ、会員増強とともに一定の成果を収められたと考えております。

一方で、在任中に3名の物故会員の告別式に参列した際は、共に奉仕に励んだ仲間たちの志を次世代へ繋ぐ責務を改めて痛感いたしました。

一年間支えてくださった全てのメンバーに心より感謝申し上げます。この貴重な経験を糧に、今後もライオニズムの発展に寄与していく所存です。



「良い経験をありがとうございました。」

2R-1ZC
福山 宏 (新居浜)

いよいよ退任の挨拶をさせていただく時期がやってきました。5月17日に今年度最終のキャビネット会議に参加したばかりですので、まだ退任という気持ちではございませんが終盤が近づいてきたと実感しております。当日の懇親会ではキャビネットの皆さんや役員の皆さんと和気あいあいと話す事が出来て楽しく過ごしました。

地区ガバナーのスローガン「輝く未来へ ウィサーブ」キーワード「魅力」の基、就任当時から、ZCとして恥ずかしくないように責任を持って一生懸命に職務をまっとうする。と情熱を絶やさずに行動して参りました。振り返ってみますと特に目立つような活躍も出来ておらず、淡々とやるべき事をこなしてきたのかなと、今となっては反省する事が多々です。

ゾーン内のライオンズクラブの皆さんに支えられながら何とか責任を果たせそうな気持ちで、大変感謝の気持ちでいっぱいです。誠に有難うございました。



一年を振り返って

2R-2 ZC
久保 智秀 (今治東)

2リジョン2ゾーンのゾーン・チェアパーソンを拝命し、気がつけば、はや退任の時を迎えました。本当にあっという間の一年間でした。不安を抱えながら始まった2025年度、特に今年は大きな災害もなく平穏無事な年であったと思います。

2024年度は、青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員をさせていただき、今期はゾーン・チェアパーソンとして活動させていただきました。

今期は、何より自分にとってキャビネットの役員の方々や1～9リジョンの方々と知り合うことができたこと、また各会議等を通じてライオンズクラブの一員として知識を深めることができ、大変勉強になりました。特に、2ゾーン内の各クラブの役員をはじめ会員の皆さまには大変お世話になりました。2ゾーン4クラブでの合同アクティビティはありませんが、合同例会を行うことで各クラブの会員同志の絆が深まったことを実感いたしました。

未熟なゾーン・チェアパーソンでしたが、様々なことを勉強でき、大変貴重な一年をいただけたことに、そして、2ゾーン内の会員の皆様のご協力に感謝いたします。

皆さま、一年間ありがとうございました。



一年を振り返って

2R-3 ZC
吉田 茂生 (川之江中央)

ライオンズクラブのゾーン・チェアパーソンとして活動したこの一年は、責任の重さを実感するとともに、奉仕の精神を再確認する貴重な時間となりました。

就任当初は、各クラブの個性を尊重しながら、いかにゾーン全体の結束を高めるかを考えていました。しかし、例会訪問や合同アクティビティを通じて、メンバーの皆様の熱意に触れるうちに、私自身の役割は「導くこと」以上に「繋ぐこと」にあると気づかされました。特に、会員増強及びLCIFにおいては、キャビネット内のゾーンの中でも良い結果となりました。

地域社会が抱える課題に対して、クラブの垣根を越えて知恵を出し合った経験は大きな財産です。至らぬ点多々ありましたが、皆様の温かいご支援のおかげで職責を全うできました。

この一年で得た絆と学びを糧に、次年度以降も一ライオンとして、地域の未来のために尽力していく所存です。厚く御礼申し上げます。



「4ゾーンはひとつ!」をテーマに活動した1年間、皆様に感謝!

2R-4 ZC
伊藤 稔 (西条)

年度当初、私にできるかなという漠然とした思いからスタート。いろいろな会議に出席する度、参考になる意見や白熱した議論、一人一人がライオンズ精神に基づき真剣に考えている様を目の当たりにしました。心を打たれる場面も多くありました。4ZCという私の職務への、ZCAをはじめ事務局・サポート委員会の皆さんからの強力なアシストには感謝するに尽きません。助言や諮問委員会の段取り、精神的な面でもすべてサポートしていただいたお陰で務め上げれたのだと思っています。Z内会議、2R内会議、周年大会への出席等、忙しい1年間でした。

また、各クラブより提出された地区ガバナーズアワード資料を拝見し、各クラブの事業内容がよくわかり、またクラブの特色もわかり、大変勉強になる機会となりました。ZCとして、4Z内クラブにアワードが受賞できるように努めたつもりです。諮問委員会では、会員拡大に向けての指導力育成にも力を入れ、楽しいライオンズクラブ生活が送れるように今後も努力していきたいと思いました。

1年間、向地区ガバナー、篠原2RC、各ZC、キャビネット役員の皆様にも大変お世話になりました。今後のライオンズ生活に役立てていきたいと思っています。ありがとうございました。



一年を振り返って

3R-1 ZC
阿部 一寿 (伊方)

3R-1ZCを拝命して、早いもので1年が過ぎようとしています。

振り返れば、キャビネット会議、リジョン会議、ガバナー公式訪問・諮問委員会、あるいは、ゾーン内の例会訪問や3リジョン内の周年記念式典等々に参加して、慌ただしく過ぎました。

リジョン内、特にゾーン内の会員皆様方との出会いと触れ合いに、この1年間は私にとりまして充実した1年であったと感じているところでございます。

特に4月末には伊方ライオンズクラブがホストクラブとして、15年振りに3リジョン合同の親善チャリティーゴルフ大会が、大勢の会員の参加を得て、楽しく開催できましたことが思い出されます。

終わりに、何かとご指導いただきました松浦リジョン・チェアパーソンを始め、各クラブのご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、お礼のご挨拶いたします。

一年間ありがとうございました。



「奉仕の輪を広げた一年」

3R-2 ZC
佐々木 史仁 (南宇和)

3R-2ZのZCを拝命してからの一年は、多くの学びと出会いに恵まれた大変意義深い時間となりました。各クラブが地域に根差した奉仕活動を積極的に展開される姿に接し、ライオンズクラブの持つ力と温かさを改めて実感いたしました。

ゾーン内では、クラブ間の交流と情報共有を大切にしながら、例会訪問や会議・式典などを通じて相互理解を深めることができました。また、会員増強や次世代育成への取り組みについても、多くの前向きな意見交換が行われ、今後につながる大きな成果となったと感じています。

この一年、各クラブ会長をはじめ会員の皆様、地区役員の皆様から賜りましたご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

今後も「We Serve」の精神のもと、地域社会に貢献する活動の輪がさらに広がることを願っております。



「感謝と挑戦の一年」

4R-1ZC
川崎 健司 (小豆島東)

この一年、4R-1Zゾーン・チェアパーソンとして活動させていただき、多くの経験と学びを得ることができました。各クラブを訪問する中で、地域に根差した奉仕活動や会員の皆様の熱意に触れ、ライオンズクラブの素晴らしさを改めて実感いたしました。

また、地区役員をはじめ、各クラブ会長・幹事・会員の皆様には、温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。時には悩みながらの活動ではありましたが、多くの仲間を支えられ、無事に一年を終えることができました。この経験を今後のクラブ活動や地域奉仕に活かし、引き続きライオンズの発展に微力ながら尽力してまいります。

一年間、本当にありがとうございました。



「一年を振り返って」

4R-2ZC
長尾 和彦 (高松源平)

この一年、4R-2Zゾーン・チェアパーソンとして務めるにあたり、ガバナーの手足としての役割を常に意識し、各クラブに最も近い立場で寄り添うことを心がけてまいりました。

クラブ訪問では、運営上の課題や会員増強への取り組みなど、現場の声を丁寧に伺い、地区方針との橋渡し役として微力ながら支援に努めました。

また、合同例会や諸行事の調整にあたっては、クラブ間の連携がより円滑になるよう配慮し、地域に根差した奉仕活動が一層活発になることを願いながら取り組んでまいりました。

振り返れば、各クラブの皆さまの温かいご協力に支えられた一年でした。この経験を糧に、今後もライオンズ精神のもと奉仕の輪を広げていく所存です。



1年を振り返って

4R-3ZC
細川 竜生 (東かがわ)

今年1年間4R-3ZのZCを務めさせていただきました。向ガバナーのスローガン「輝く未来ヘヴィサーブ」ガバナーキーワード「魅力」のガバナー運営方針のもと1年間活動してまいりました。

最初にキャビネットの役員研修会から始まり、キャビネット会議、リジョン会議、地区ガバナー諮問委員会、ゾーン内の例会訪問、これでもかとあった第二副地区ガバナー推薦委員会にゾーン内での60周年事業等多くの事がありました。またキャビネット会議では、4R3Z内のLCIFの0献金が多い事と会員数減少に対してのはっぱもかけられることもありました。このことについては私の魅力不足またガバナーの魅力の伝え不足として謝りたい。ですが、ひとえにつまずきながらも、各クラブ会長並びに会員メンバー、また4R内の地区役員の皆様に支えられてすめていけました。ありがとうございます。

最後になりますが次の未来へ向けてこの言葉を
ウィサーブ ウォー



「この一年を振り返って」

4R-4ZC
宮内 利弘 (高松紫雲)

昨年7月より4R-4ZCゾーン・チェアパーソンを拝命し、この大役が自分に務まるだろうかという不安の中でのスタートとなりました。しかし、4R-4Zの5クラブの皆さまの温かいご協力とご支援のおかげで、この一年間、無事に職務を務めることができましたことを心より感謝申し上げます。

今期は各クラブの周年事業が重なる年でもあり、多くの周年行事に出席させていただく中で、それぞれのクラブが長年積み重ねてこられた歴史と伝統の重みを改めて感じる機会となりました。また、5クラブ体制となった4ゾーンでは、クラブ同士の懇親を深め、メンバー同士が気軽に声を掛け合い、笑顔で交流できる関係づくりができればとの思いで活動してまいりました。その一方で、まだまだ自分自身の力不足を感じる場面も多くありましたが、多くの学びと素晴らしいメンバーとの出会いをいただいた貴重な一年となりました。

この一年間、この職をいただけたこと、そして多くの皆さまと出会えたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



「一年を振り返って」

5R-1ZC
井上 喜雅 (うたづ)

今期5R-1Zのゾーン・チェアパーソン、うたづライオンズクラブの井上喜雅です。

一年間、5R-1Zのゾーン・チェアパーソンの役職につき、今振り返ってみますと他クラブ並びに会員皆様のご協力があればこそ、一年間大役を成し遂げられたとの思いがこみ上げてきます。

今期は、1Zと2Z合同の諮問会議を行いました。中々交流のない、

2Zの会員の方々とも懇親の場を触れ、ライオンズクラブ会員、人としての学びの場を純粹に感じ取らせて頂きました。

本年度、336-A地区 5R-1Zゾーン・チェアパーソンの役を務めさせていただいたことで、私自身が「ライオンズクラブとは何かを」再勉強をさせて頂いたと言っても過言ではなかったかと思えます。

「一人の力は限界がありますが、そこに人が集まればマンパワー、無限大の力が湧き上がってくる。それが、ライオンズクラブである。」

最後に、この役を通じ私自身が強く感じたことは、ライオンズクラブが益々繁栄し、地域奉仕活動が活発になり、そこには、会員皆様(私も含めて)の会社の繁栄とご家族のご多幸と笑顔があることを日々祈願し、ライオンズのクラブ活動を続けてまいります。



一年を振り返って

5R-2ZC
岩倉 彰三 (こんびら)

私の任期も、後わずかです。一年は本当に早いもので、私自身、各クラブの皆様にはゾーン・チェアパーソンの仕事が出来ていたのか、地区役員もそう当たるものでもない訳で、役を受けて始めて勉強しながら、世話をさせてもらうのが皆さん同じだと思います。やっと覚えた頃に

終わる感じです。そんなに難しい仕事ではないのですが、色々な大会、例会訪問、最近では三クラブ合同例会で、出向く回数が少なくなっているのを、助かっていると思います。

私も役を引き受けて、一番思うのは、人との交流、出会いだと思います。一期一会と云う言葉がありますが、私はその通りだと思います。外に出て、新しい人との出会い、そして思い出を作り、私は、人との出会いは本当に大切にしたいと思います。

最後に関係各位の皆様、一年間、本当に有難うございました。



1年を振り返って

6R-1ZC
畠中 耕一 (高知)

ガバナーズローガン「輝く未来ヘウイサーブ」キーワード「魅力」のガバナーの運営方針のもと、ゾーン・チェアパーソンに就任しては1年を迎えようとしています。

徳島キャビネット、リジョン・チェアパーソン、各クラブの会長、幹事の皆様にはゾーン運営について一方ならぬ協力を賜り有難うございました。

入会歴13年での大役に不安もありましたが、役員研修会、キャビネット会議、諮問委員会等を通じてライオンズクラブの一員としての知識を深めることが出来まして大変勉強になりました。今後のライオンズライフに生かすことが出来ると確信しております。

ガバナー公式訪問では、司会、進行役を仰せつかり緊張したことを今でも鮮明に記憶に残っています。

例会訪問では各クラブの皆様にご温かく迎えていただき有難うございました。

出席率はほぼ100%のクラブがある一方で、50%程度の出席率で運営に苦慮されているクラブもありましたが、それぞれのクラブによって例会運営に工夫がなされており感心致しました。

最後になりましたが、6Rの地区役員の皆様、6Rの会員の皆様に感謝申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



ライオンズ アゲイン

6R-2ZC
近藤 御風 (佐川越知)

「輝く未来ヘウイサーブ」の掛け声でスタートした地区役員ライフでしたが、現実の所属クラブの状況はそのような高揚感はなく、打つ手のない会員減、高齢化に加え、円安・物価高もクラブ活動の重しになっていると感じていました。

いざ、リジョン・チェアパーソンに重い尻を叩かれゾーン内のクラブ訪問や諮問委員会に臨んでみると、地域に溶け込んだアクティビティ、従来の奉仕に工夫を加えたハイブリッドな奉仕活動を目の当たりにすることとなり、ライオンズの力を再認識する、まさに括目の体験をさせていただき大変ありがたい一年となりました。

徳島キャビネットのワイワイ感に、当初、違和感がありましたが、世代間の感性に由来するもので若い世代の仲間づくりには必要だと納得しました。

地域に目を配り足元を見直し、工夫を重ねながらライオンズライフを充実していきたいと考えています。



ZC退任のご挨拶

6R-3ZC
田中 信宏 (土佐清水)

6R-ZCを拝命して、早1年が過ぎようとしています。ZCとしての活動を最優先として、取り組んで参りました。振り返ってみますといろいろなことがあり、大変なこともありますが楽しい1年でした。キャビネット会議では、若い、向地区ガバナーはじめ、女性の多いスタッフや、RC・ZC・地区役員の方々とお話しすることができ、親しくお話をすることができました。徳島で食事後のスナックでは、佐田岬、室戸岬、足摺岬のZCが揃って四国の端々から来てますねー等々。地元田舎の話をしながら、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

リジョン会議では三谷6RCはじめ、畠中1ZC、近藤2ZC、地区役員の方々と、何回もお会いすることで親しくなりました。リジョン内の周年記念にもご案内いただき、会長さん達と親しくお話しすることができました。

3ゾーンは、4クラブで構成されていて、三谷6RCには、ゾーン内の例会訪問時にも各クラブに同行していただきました。ゾーン内のクリスマス会、忘年会、新年会など会長、幹事、有志が集いクラブ訪問をして、地産の品物を購入し、各クラブのドネーションが、増額になるよう各クラブに協力致しました。そんなさっかけで、『3ゾーン ライオンズクラブ連携事業』令和8年6月20日に、ライオンズクラブのPRも兼ねて四万十ライオンズクラブが中心になり一般のグループも含めて、四万十市で綱引き大会を開催することになりました。素晴らしいことだと思います。継続していきたいです。

地域を思う熱い情熱と『ウィ・サーブ』の精神に直接触れ、私自身が多くのことを学ぶ大変有意義な一年となりました。皆様のご健勝と、各クラブの今後更なるご発展を祈念致しまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

1年間有難うございました。感謝。感謝です。



一年を振り返って

7R-1ZC
松本 和也 (室戸)

7R-1ZCに就任して一年が過ぎようとしております。

活動を振り返りますと、諸先輩方や、クラブの仲間と共に活動した日々が思い出されます。

各クラブへの訪問例会をはじめ、一月の合同例会、また、市民の方々とともに室戸市観光課主催の観光地清掃活動や真夏の夜の花火大会への参加、四季折々にクラブの仲間と胚を交わした、花見例会、観月例会、忘年例会、あっという間の一年でした。

他クラブの方々とともに親睦を深めながらの活動が、充実した中身の濃い一年間だったと思います。

最後に、来期もこの一年間の貴重な経験を活かし、楽しいクラブ運営に取り組んで参ります。



「感謝と学びの一年」

7R-2ZC

西村 方志 (高知南)

多くの学びと出会いのある貴重な一年となりました。各クラブへの例会訪問では、それぞれの地域に根差した活動に触れ、長年にわたり地域奉仕を続けてこられた会員の皆様の熱意に深く感動しました。

特に、骨髄バンク登録支援や献血活動、障害者スポーツ支援、地域清掃活動など、地域に必要とされる取り組みが継続して行われていることに、ライオンズクラブの大きな力を感じました。また、高校生によるラオスでの学校建設支援を通じた国際交流活動では、未来を担う若い世代に奉仕の心をつないでいく素晴らしい取り組みであると強く印象に残っています。

その一方で、会員維持や会員増強の難しさも改めて感じた一年でした。社会や価値観が変化の中で、ライオンズクラブの魅力や奉仕の意義をどのように伝えていくかが、今後さらに大切になると感じています。

また、LCIF100ドル献金につきましても、各クラブそれぞれに考え方や文化があり、ご理解をいただくことの難しさを感じました。しかし、世界中の支援活動につながる大切な取り組みでもあり、今後も丁寧に説明を重ねながら、理解を深めていただけるよう努めていきたいと思っています。

一年間、多くの皆様に支えていただき、無事に務めを終えることができましたことに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



一年を振り返って

7R-3ZC

池田 和広 (高知ようま)

皆様、一年間温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。

今期、向ガバナーが掲げられた「期末会員5,000名、LCIF50万ドル」の目標達成に向け、7リジョン3ゾーンの各クラブに多大なるご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

「1ゾーン1支部クラブ創設」は現時点で未達であり、4月末時点の会員数も2名減と苦戦を強いられています。しかし、任期はまだ2ヶ月残されています。何としても純増を勝ち取るべく、最後まで皆様と共に全力を尽くしてまいります。

公式訪問の際には、各クラブの皆様から過分なご接待をいただき、大変身の引き締まる思いと同時に、ライオンズの絆の深さを強く実感いたしました。

ゾーン・チェアパーソンとしての責務を全うできたのは、ひとえに皆様の「We Serve」の精神のおかげです。一年間、本当にありがとうございました。



【組織なんてものは】

8R-1ZC

長池 文武 (小松島)

近年、第8リジョンからは毎年計8名の地区役員・委員が選出されています。それぞれ責務があり、時間や費用を要する大役ですが、会員減少と高齢化に悩む各クラブにとって役員の輩出は年々難しくなっています。さらに追い打ちをかけるクラブ数の減少でローテーションが早まり、貴重な経験であるはずの役回りが負担になりつつありました。既存の組織形態が時代に乖離していることが根本原因ですが、すぐには解決できません。

そこで今期は応急処置として、同様の課題を抱える第9リジョンとの統合による「リジョン再編」に踏み切りました。役員総数を削減し、各クラブの負担軽減を図るためです。社会通念が変わる今、組織の維持そのものが目的化しては本末転倒です。……と、偉そうな持論を述べましたが、メンバーと奉仕の汗を流し、わいわいとお酒を酌み交わす時間が何より楽しいので、「楽しければまあいいか!」が偽らざる本音です。お疲れ様でした。



一年を振り返って

8R-2ZC

米田 剛 (徳島やまもも)

昨年の7月に8R-2Zのゾーン・チェアパーソンを拝命し、あっという間の一年だったように思います。まだまだライオンズ歴が浅いものですから、就任当初は不安いっぱい船出でしたが、8リジョンの他の地区役員や地区委員の皆様を支えていただきまして何とか一年間お役をこなす事が出来ました。また、就任当初の例会訪問では、8リジョンの各クラブの三役の方々ははじめ、クラブの皆様に変な温かいおもてなしをしていただきしっかり勉強させていただいたおかげで当初の不安も払拭する事が出来ました。

さて、今年度を振り返ってみて一番思うところは、本来ならであろう、8リジョンと9リジョンの合併という出来事でしょうか。近年、高齢化も進みなかなか地区役員・委員の選出にご苦労されていたことは前々期に地区委員をさせていただいた時から何となく感じていましたが、今期は全く選出できない状況になっていました。そこで急遽話が出たのが9リジョンとの合併案でした。先方も同じような状況下であることをお聞きし、合併する運びとなりました。内容としてはマイナス思考的に捉えられると思いますが、私自身は今まであまり接点がなかった方々との交流が増えて、今後に向け前向きに、プラスに捉えていけるのではないかと考えておりますので、今からワクワクしております。

最後になりましたが、キャビネットの皆様をはじめ、各クラブの皆様方には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



一年を振り返って

9R-1ZC

井上 宣英 (鳴門)

9R-1ZCに就任し早1年が過ぎようとしています。7月3日の鳴門西LCから始まった7クラブの例会訪問は、私にとって非常に勉強になり、意義のあるものになりました。7クラブ中5クラブが平均年齢60歳以上という1Zではありますが、例会は活気があり、またそれぞれのクラブに特色のある楽しい例会だと感じられました。また、様々な奉仕活動、新しい事業の取組みなども聞かせていただき、ライオンズの未来も明るく感じました。ライオンズ歴30年にし

て、初めて地区キャビネット会議にも出席をさせていただき、たくさんの方々と話をさせていただいたことにも感謝しています。

12月にはリジョン再編の話があり、次年度から徳島は8R9Rが8R、3ゾーンの編成になることが決定しました。私はmission1.5の推進をしている中、後退することになると意見させていただきましたが、多くの方々から未来に向かっての再編だという声をいただきました。徳島が8R一つになり、各クラブが切磋琢磨して、頑張っていけたらいいと思います。

昨年のYCE・国際関係・ライオンズレオ委員、今年のZCと2年間続いた役職が終わる6月30日に70歳です。これからもWeServeの精神で頑張りたいと思います。地区役員の皆様、各クラブの会長様はじめ会員の皆様、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



今年度を振り返って

9R-2ZC

岡本 大介 (鴨島)

本年度、ゾーン・チェアパーソンを務めさせていただき、多くの学びと貴重な経験をいただいた一年となりました。

各クラブを訪問させていただく中で、それぞれのクラブが地域のため、そして仲間のために熱い想いを持って活動されていることを改めて実感いたしました。

また、本年度は8リジョン・9リジョン統合という大きな節目を迎える年度でもあり、多くの皆様と意見交換を重ねながら、新たな一歩に向けて進んでこられたことを大変嬉しく感じております。

ゾーン・チェアパーソンとして至らない点も多々あったかと思いますが、各クラブ会長をはじめ会員皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、無事に一年を終えることができました。

この一年でいただいたご縁と経験に感謝し、今後もライオンズの友情と奉仕の輪を大切にしながら活動してまいりたいと思います。

一年間、本当にありがとうございました。

アクティビティ報告

八栗ライオンズクラブ結成45周年記念 第13回八栗LCグラウンド・ゴルフ大会

～約400人の参加で盛大に～

336-A地区4R、2Z 八栗ライオンズクラブ(有岡信次会長)は、4月26日(日)、高松市立東部運動公園において「第13回グラウンド・ゴルフ八栗ライオンズクラブ大会」を開催しました。今大会は、八栗ライオンズクラブ結成45周年の「記念大会」でもあり、香川県下各地から約400人の選手が参加し、盛大な大会となりました。

ライオンズクラブでは、2Z内の各クラブから20人が参加。初めて参加した人が大半で、クラブの持ち方から教わりながらスタートしました。しかし、ルールが簡単なので、すぐにプレーに参加でき、楽しい大会になりました。

■ グラウンド・ゴルフとは

グラウンド・ゴルフは、ゴルフをアレンジした新しいスポーツで、クラブでボールを打ち、ボールがホールポスト内に静止するまでの打数を数えるゲームです。

「いつでも」「どこでも」「だれでも」できる生涯スポーツとして広く普及しており、国民スポーツ大会(国体)の公開競技種目として実施されています。

■ グラウンド・ゴルフで健康寿命を延ばそう

八栗ライオンズクラブは、高齢者が気軽に体を動かし、楽しめ、健康増進につながるスポーツはないかと協議する中でグラウンド・ゴルフが最適な競技だと知りました。

高齢者の健康増進と健康寿命の延伸に貢献しようと、グラウンド・ゴルフ大会を開催し始めて13年目になり、今では、グラウンド・ゴルフ協会の人たちとの交流も深まっています。

■ 45周年記念式典で表彰式

「第13回グラウンド・ゴルフ八栗ライオンズクラブ大会」の成績発表(20位まで)と表彰式は、4月26日の当日行いましたが、ライオンズクラブ内の選手の表彰式は、5月10日に開催された「45周年記念式典」で行われました。結果は、以下の通りです。



優勝 飯間 裕二(八栗LC)
準優勝 国方 崇(八栗LC)
3位 鎌野 実(高松源平LC)

4位 有岡 信次(八栗LC)
5位 渋川 学(高松西LC)
6位 武田多喜男(高松源平LC)



「つなぐ力」が未来を創る一年

GAT・GMA・会則・
Mission1.5 委員会 委員長

一宮 昭夫 (徳島みらい)

今期、地区GAT・GMA・会則・Mission1.5委員長を拝命し、多くの皆様に支えていただきながら活動してまいりました。この一年を振り返り、改めて「人を育て、未来へつなぐこと」の大切さを強く実感しております。

ライオンズクラブを取り巻く環境は年々変化し、会員減少や担い手不足など多くの課題があります。そのような中、今期は「次世代へつなぐ組織づくり」を意識し、活動を進めてまいりました。

特に大きな成果となったのが、元国際理事・濱野雅司ライオンを講師としてお迎えし、336-A地区初となる「次世代サーバントリーダー育成セミナー&公認ガイディングライオン研修会」を開催できたことです。

当日は多くのライオンにご参加いただき、リーダーシップや奉仕の本質、そして人を育てることの重要性について学ぶ機会となりました。参加者の学びへの熱意は非常に高く、その結果、100名もの公認ガイディングライオンが誕生いたしました。これは336-A地区にとって大きな財産であ

り、未来への大きな希望であると感じております。

また今期は、高松がらんライオンズクラブという新たなクラブエクステンションも実現いたしました。新クラブ結成には多くの努力と情熱が必要ですが、「新しい仲間を増やし、地域に奉仕の輪を広げたい」という強い想いが形となり、大変意義深い成果となりました。

クラブエクステンションは単にクラブ数を増やすだけでなく、新たな価値観や活動を生み出し、ライオンズの未来を広げていく挑戦でもあります。その一歩を踏み出せたことを嬉しく思っております。

最後になりますが、今期の活動はキャビネット役員の皆様、各委員会の皆様、そして地区内すべてのライオンのご理解とご協力があったからこそ成し遂げることができました。心より感謝申し上げます。

これからも「奉仕の力を未来へつなぐ」ため、挑戦を続けてまいります。今後ともご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



「貴重な経験を体験させていただいた1年間でした。」

M・地区誌・
Digital 委員会 委員長

茶谷 拓至 (徳島すだち)

一年間、M・地区誌・Digital委員会の委員長をさせていただきました。ありがとうございます。

最初に地区誌の制作におきましては、本当に沢山の皆様の多大なご協力がなければ出来上がっていなかったと思います。皆様のおかげで、無事4回発行する事が出来ましたこと、心より感謝しております。本当にありがとうございました。

今期におきましては、会員増強に繋げていくために少しでも多くの方にライオンズクラブの活動を知ってもらうためマーケティングを軸にして、地区誌制作、SNS活動を進めていく方針でした。しかし、思っていたように出来ないこともあり反省点も多いです。1年間は長いようで短いです。

一方、委員会において委員の方々と地区誌の構成案を話し合っていくながら、クラブ会員だけでなく会員以外の方が読まれても内容が理解しやすく、楽しく読めるようにとアイデアを出し合いLCIFやヘアードネーション、SNSに関する事などをテーマにした記事を掲載するなど制作を進めていった事は少し新鮮で楽しい経験になりました。今後も地区誌の中にライオンズ用語の内容が分かりやすく書かれた記事や特徴的なアクティビティの紹

介、遊び心のある楽しいページなど増えていくと更にいいかもしれませんね。今期の任期はあと少しで終わりますが、今後も自分なりにライオンズクラブにおけるマーケティングについて考えていければと思っております。

この度、委員長という仕事を通して、皆様と一緒に一年間活動出来たことは自分にとって大切に貴重な経験になりました。所属クラブ内での活動だけでなく、地区役員や地区委員長・委員として活動していく中で、初めて見えてくるもの、感じる事が多々あります。視野、知識が凄く広がることを実感出来ました。また、クラブ内外に関わらず、暖かく迎えていただき分からない事も相談にのっていただけるのはライオンズクラブの素晴らしいの一つだと思います。本当に感謝しかありません。ここで学んだ事を活かして日々の仕事やライオンズ活動において、もっともっと自分自身成長出来るように頑張っていきたいと思っております。

実感としましては、本当にあっという間の一年でした。また、本当に多くの方々に助けていただいた一年でもあります。貴重な学びの場を与えていただきまして、本当にありがとうございました。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。



新たな風に期待！

青少年・LCIF・
ライオンズクエスト委員会 委員長

春木 扶佐子 (鳴門)

この一年、青少年・LCIF・ライオンズクエスト委員会の活動を通じ、多くの学びと出会いがありました。

ライオンズクエストの普及活動では、子どもたちに必要な「ライフスキル教育」の大切さを多くの人に伝える難しさを感じる場面もありました。しかし、地区委員の皆様が各地で積極的に声をかけ、準備や運営に尽力して下さったおかげで、メンバー対象セミナーを四国4県で開催することができました。参加された方からは「座学でなく楽しく学べた」「ライオンズクエストの必要性が理解できた」と報告がありました。6月には新居浜セミナー、夏には教員対象のワークショップ開催も続いております。四国内でライオンズクエストの灯りが灯りそうです。

また、LCIFへの協力を通じて、世界中で困難に直面している人々への支援の大切さを改めて実感いたしました。皆さまから寄せられた温かい寄付とご支援は、多くの命や未来を支える大きな力となっています。クラブの皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

薬物乱用防止認定講師養成講座は、すべてのリジョン、県単位で開催されました。また、薬物乱用防止活動では、各クラブの皆さまには地域に根差した啓発活動に積極的に取り組んで

いただきました。年次大会分科会では、薬物乱用防止教室の素晴らしい実践報告があり、地域での継続した活動の重要性を再確認する機会となりました。青少年を薬物の危険から守るためにこれからも「ダメ。ゼッタイ。」のメッセージを発信して頂きたいと思います。

平和ポスターコンテストでは、各クラブのご協力のもと、多くの素晴らしい作品に出会えることができました。子どもたち一人ひとりが描いた「平和への願い」には、豊かな感性と想像力があふれていました。受賞された子どもたちにも大きな自信や夢に繋がる機会となったようです。

ライオンズクエスト活動には多くの宿題もありますが、新しい風が吹くことを期待して次期に委ねたいと思います。この一年、地区委員の皆さまを通じて各クラブの活動や思いを知ることができました。皆さまのご苦勞に心より敬意と感謝を申し上げます。これからも子どもたちの笑顔と未来のために、ライオンズクラブの奉仕の輪がさらに広がることを願っております。

一年間、たくさんのご支援とご協力をいただきましてありがとうございました。



この一年・感じたこと

環境保全・保健福祉委員会
委員長

齋藤 徹 (石井)

最近の環境問題を見てみると、やはり気候変動や異常気象、大気汚染などではないでしょうか。

特に気候変動による地球温暖化については、季節の二季化が進み、気温40度時代へとようになってきております。そのため今年からこの40度以上の日の名称を「酷暑日」と決められました。このことから我々もエアコンのスイッチを入れるだけではなく何らかの温暖化に対する活動をしなければならぬと感じています。そこで、我々委員会の活動方針にも環境保全の活動のメニューとして何点か地球温暖化対策へのチャレンジをお示ししました。しかしながら、アワードではこの活動を具現化し実施され申請を行ったクラブは少なかった様に思います。また、保健福祉については、献血奉仕が約97%のクラブが行っており定着していることがうかがえます。我々が行う環境保全・保健福祉の活動は人間の生活に直結するものが多く、継続して活動することが大事ですが、地道な活動であって華々しい活動とは言えま

せん。しかし、まず自らが言い頑張っていくことが必要だと 생각합니다。

なお、この一年特に感じたことは、ライオンズクラブではウィ・サーブ(我々は奉仕する)ということをもットとしておりますが、この奉仕とは、義務的に行うものだと考えております。近年では、奉仕に参加するものが少なくなり楽しむだけのライオンズになっているような気がしてなりません。また、スローガンの中のインテリジェンスも欠けてはならないと感じています。

ライオンズクラブには、規則・付則・プロトコール(規約)等がありますが、あまり語るものもおらず、用語もあまり解からない人が増えてきているのではないのでしょうか。もう少しみんなで崇高なライオンズクラブにしませんか。

最後に、特に環境部門では一人一人が地球温暖化を意識し行動を行っていきましょう。自分の命より先に地球が無くなりませんように。



YCE 委員長としての一年

YCE・国際関係・
ライオンズレオ委員会 委員長

生田 素久 (徳島すだち)

この一年間を振り返ってみますと、とにかく本当に楽しかったの一言に尽きます。

拝命当初は右も左もわからない事ばかりでしたが、複合の委員長・副委員長はじめ、他の準地区の委員長、前委員長、各リジョンの地区委員の皆様や関係各位のすべての方々のお陰で無事に務めあげる事が出来たと感謝しております。

特にA地区にてYCE生の受け入れ・派遣にご協力を頂きましたクラブの皆様には改めまして心より感謝申し上げます。

YCE・国際関係・ライオンズレオ委員会は数あるライオンズクラブの活動の中でも無くてはならない、非常に大切な委員会であると実感しました。日本と外国の若

者たちの文化交流は今後の彼ら彼女らにとって一生の宝物になることは間違いありません。どうか皆様も是非、本委員会に積極的に携わってみてもらえればと思います。活動内容はもちろんの事、自分自身の視野や見識を高める事の出来る本当に素晴らしい委員会です。

また、ライオンズレオの存在もYCE活動には必要不可欠です。若いうちからライオンズクラブに関りを持って頂き、将来ライオンズクラブへの入会に繋がればこれほど理想的な事はございません。

最後になりますが、期をまたぎ、もうあと少々の期間本委員会に携わりますが、今後ともご協力のほど、よろしくお願い致します。



「What a Wonderful World」

アラート委員会 委員長

いで い
出射 隆文 (高松フェニックス)

2021年3月に香川県立高校教員(数学)を定年退職したのち、大学、大学院の時代に地球物理学(地震学)を研究していたこともあり、香川大学大学院工学研究科博士後期課程を受験して進学しました。

大学院で「災害に強いまちづくり」について研究を始めたこともあり、4年前に立ち上がった336-A地区のアラートチームに関わることになりました。

鴨島キャビネットがスタートする1か月前の6月に長崎県佐世保市で開催された「アラートフォーラム」に勉強のため参加しました。そこで、アラート活動をしている全国のライオンズのメンバーに出会えたことが、私にとって一番の宝物になっています。

それ以降、東日本、西日本交互に開催されている「全国アラートフォーラム」にも毎年参加して、アラートの勉強をするとともに、全国のアラートのメンバーと再会いろいろと情報交換することができ、とても有意義で楽しい時間です。

昨年度から始めた、336-A地区のアラートセミナーも、私のこのときの経験を地区の皆さんに知ってもらうために開催しました。四国各地から多くの方に参加いただき、感謝申し上げます。

ところで、LIONSは“Liberty Intelligence Our Nation’s Safety”(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をは

かる)の頭文字を並べたもので、『ライオンズ・ヒム』の歌詞にも登場してきます。

4年前、アラートチームのメンバーとして活動することが決まった後、ライオンズの先輩の方に、アラート活動は、“Our Nation’s Safety”とあるように、ライオンズ活動の基本となるものだ、と教えていただいたことを思い出します。

昨年度の水戸市でのアラートフォーラムでの木村知紀日本ライオンズアラート委員会の東日本統括リーダーの「全国のライオンズのメンバーが共通してできる唯一のアクティビティがアラート活動」という言葉はとても印象的でした。

アラート活動は特定の個人がやっている活動ではなく、ライオンズクラブのそれぞれのメンバーが自分のできる範囲で“ Our Nation’s Safety”について取り組むことではないかと思います。

人間一人ひとりのできることは限られていますが、全国、いや世界のライオンズのメンバーがその目的に向かって活動すれば、素晴らしい世界(What a Wonderful World)ができるように思います。

4年間アラート活動に関わったことで、全国の多くのライオンズのメンバーと出会うことができたことに、あらためて感謝いたします。



伊予 LC 結成 60 周年記念式典

～60 年の歩みを未来へとつなぐ～



2026年4月11日(土)ウェルピア伊予において、結成60周年記念式典を盛大に執り行うことが出来ました。当日ご多用の中ご来賓として伊予市長武智邦典様をはじめ、地元関係機関、地区ガバナー向和人様、地区名誉顧問、キャビネット役員・地区役員、1R各クラブの会長・幹事、さらに姉妹提携クラブである中華民国 潮州獅子會、名古屋栄ライオンズクラブの皆様に遠路よりご臨席を賜り、総勢150名で開催出来ましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

当クラブは1965年松山中央ライオンズクラブ様のスポンサーにより結成され日本で994番目のクラブとして誕生いたしました。以来60年、幾多の時代の変化を乗り越えながら、「We Serve」の精神のもと、先達の情熱と行動力そして地域の皆様の温かいご支援があってこそ今日があることを改めて実感いたしました。

今回の記念事業は、「地域の未来を担う子どもたち」を重点テーマに掲げ、本物の音楽を届けたいという思いで、伊予市内の中学3年生・小学6年生、計660名を対象にNHK交響楽団メンバーによる、フレンドリーコンサートを実施。また、全日本ピアノ指導者協

会、愛媛県支部(ピティナ)のご協力のもと、「音楽でつなぐ60年の絆」をキャッチコピーに63組の参加によるピアノリレーコンサート「ピアノパレード」を開催いたしました。世代を超えて響き合う音色は、まさに地域の絆そのものであり、60年の歩みを未来へとつなぐ象徴的な事業となりました。

私たちは60年を単なる通過点とするのではなく新たな未来への出発点とし次世代へ誇れるクラブづくりを進めてまいります。



1R-2Z 伊予 LC 会長 竹田 功



松山センチュリー LC 結成 10 周年記念式典

～CN10 周年記念式典・祝賀会を終えて～



5年前、コロナ禍により5周年記念式典の中止を余儀なくされた私たちにとって、この度令和8年5月19日に開催した「CN10周年記念式典」は、わがクラブが初めて一から創り上げる念願の記念式典でした。

ホストクラブとして皆様をお迎えする舞台裏はこれまでにない心地よい緊張感に包まれました。進行において時間配分のミスに焦る場面もありましたが、会員が一丸となって乗り切ったそのプロセスさえも、我がクラブの歴史に刻まれる大切な経験となりました。

今回の大きな節目に際し、記念事業として松山市長をお迎えして執り行った松山城本丸へのデジタルサイネージディスプレイ贈呈式、および愛媛FCへのアルミベンチ寄贈を無事にご報告できたことは、我がクラブの大きな誇りであり地域への恩返しという社会的責任を果たせた充実感で一杯です。

続く祝賀会ではおもてなしの要として特にこだわったお食事に対し、多くの皆様から「本当に素晴らしかった」とお褒めの言葉をいただき、苦勞の報われる思い

でした。さらに、当日は我がクラブの会長と会員そして伊予ライオンズクラブ会長までもが同じ誕生日という奇跡的な偶然が重なり、主役一同での鏡開きが実現。会場が大きな拍手に包まれた瞬間はこの上ない喜びでした。

頼もしい会員の絆と、皆様への深い感謝を再確認できた最高の節目となりました。



1R-3Z 松山センチュリー LC

CN10周年大会委員長 山本 幸子



伊予土居 LC 結成 50 周年記念式典

～これからも各地に奉仕の花を咲かせていきたい～



50周年記念事業として行った主な活動をご紹介します。

1. 土居高等学校を対象にアーティスト「YOU」・バンド「VELLY」による講演&LIVEを青少年育成活動の集大成として開催
2. 地域の皆様へ感謝を込め、50周年記念感謝祭(トーク&LIVE & マルシェ)を開催
3. 関川ふるさと広場桜の木の美化整備、伐採・枝打ち事業を長年続けてきた関川の草刈り・清掃・植樹活動の集大成として実施。
4. 「いのちと夢」をテーマに活動をしている弓削田健介さんの歌声を、地元の小中学生と共に聞き、全員で合唱するコンサートを開催
5. 能登半島災害復興支援のチャリティーゴルフコンペを2025年と2026年に開催。
6. 「本物」のバレーボールに触れる機会を増やすため、Vリーグ土居大会の開催を支援

当初は特別な記念事業は決まっていなかったのですが、これまでの活動の延長線という感じで自然な流れで実施したものが、それぞれの活動の集大成となりました。ご協力くださった全ての方に感謝したいと思います。

記念式典・祝宴は3月に開催。スマートな式典と楽しい祝宴を目指しました。挨拶は最小限にし、簡略化を行う一方、クラブの

歴史を支えてきた方々へ敬意を捧げる時間も大切にいたしました。その後の祝宴では、最初と最後に突然音楽とダンスが始まるフラッシュモブを行いました。参加者に楽しんでもらう為に、昨年の12月から稽古してきたダンスパフォーマンスで祝宴を盛り上げることができました。そして祝宴終盤のライオンズローアに登場した花咲かじいさんに扮したL鈴木良明の言葉を最後に紹介します。

「これまでいろいろなところで花を咲かせてきましたが、これからも各地に奉仕の花を咲かせていきたいと思います。」



2R-3Z 伊予土居 LC 会長 岸 良一



西条 LC 結成 65 周年記念大会

～メンバー一丸となり、新たな一歩を踏み出す～



■ 記念式典 2026年4月26日(日) 西条市総合文化会館にて開催

愛媛県知事をはじめ市内の各種団体長ら11名の来賓、ライオンズクラブ関係として向地区ガバナー・篠原地区ガバナーエレクト・関野地区名誉顧問をはじめ地区役員19名、加えて2R内の各クラブから81名、友好姉妹提携先のハワイ・アラモアナライオンズクラブより代表1名の総勢112名にご来賓を戴き、我がクラブとして44名の会員がお迎えして65周年記念式典を開催。スポンサークラブ(新居浜LC)への感謝状並びに記念品の贈呈、ライオンズクエスト支援金の贈呈と感謝状の拝受など、簡素であるが厳粛な中にも和やかに、さらに懇親会では笑顔溢れ和やかに、今後のクラブ活動の活力につながる機会となりました。ご多用の中ご出席いただいた皆様有難うございました。感謝です！

■ 記念事業の紹介

テーマ 『市民協働で笑顔と心をつなぐ奉仕を!!』

通年恒例の行事の他に、次の記念事を行いました。①緊急災害対応用「手押し水汲みポンプの改修②交通安全ロードサイン看板の改修③「菜の花満開大作戦」と「フォトコンテスト」「菜の花春まつり」の実施 ④愛媛県警察音楽隊と西条少年少女合唱団のコラボコンサートの開催、《笑顔でつなぐ安心社

会》をテーマコンセプトに750名の聴講者でホール満員の盛況した行事となりました。⑤ライオンズクエスト支援金の贈呈⑥チャリティーゴルフコンペの実施(災害被災地へ支援金)以上、メンバー一丸となり節目となる65周年を西条LCらしく迎えられたことに厚く感謝し、また新たな一歩を踏み出します。



2R-4Z 西条 LC 会長 明比 昭治



八幡浜 LC 創立 70 周年記念式典

～周年テーマ「奏」・クラブ 70 年の歴史と歩みを振り返る～



2026年4月18日、八幡浜ライオンズクラブ創立70周年記念式典並びに祝賀会を、マリエール大洲にて、多数のご来賓ならびに関係者の皆様のご臨席を賜り、盛会のうちに滞りなく開催することができました。

式典はマリエール大洲内の大聖堂を会場として執り行い、厳粛で荘厳な雰囲気の中、ご来賓の皆様から温かいご祝辞を頂戴するとともに、クラブ70年の歴史と歩みを振り返る大変意義深い時間となりました。記念事業として、桜の植樹と、地域でご活躍しております3団体への活動支援金の寄付を式典にて執り行わせていただきました。

式典終了後は披露宴会場へ場所を移し、祝賀会を開催いたしました。周年のテーマ「奏」にもありますように、皆様が当時を懐かしんでいただけるような生演奏をはじめ、会員同士や関係者の皆様との親睦を深める和やかな交流の場となりました。終始笑顔に包まれた祝賀会となり、ライオンズクラブの絆と結束を改めて実感する機会となりました。

開催にあたり、ご支援とご協力をいただきました全ての皆様、そして準備・運営に尽力いただいた各部会員の皆様に心より感謝申し上げます。今後も地域社会への奉仕活動を通じ、より一層信頼されるクラブを目指してまいります。



3R-1Z 八幡浜 LC 実行委員長 後藤 庸介



南宇和 LC 結成 60 周年記念大会

～地域とともに歩み、より良い社会づくりに貢献～



南宇和ライオンズクラブは、結成60周年を迎え、その節目を祝う記念式典および記念事業を実施いたしました。

記念式典は4月12日に開催され、一般来賓・元会員や近隣12クラブから75名が参加し、和やかでありながらも厳かな雰囲気の中、盛大に執り行われました。式典後の祝宴では、地元特産のカツオや愛南ゴールドが当たる抽選会が行われ、参加者の笑顔あふれる大変な盛況となりました。

また、地域への感謝と今後の発展への願いを込めて、さまざまな記念事業も展開しました。B&G海洋センターへビート板40枚を寄贈し、地域の子どもの健全な育成を支援。さらに、あいなんくるには学習かばん用の収納棚を寄贈し、学習環境の充実に寄与しました。加えて、大森山公園では桜の植樹を行い、地域に新たな憩いと彩りを提供しています。そして、南宇和高等学校教育振興協議会への寄付を通じて、未来を担う若者たちの教育支援にも取り組みました。

これらの活動は、地域社会への奉仕というライオンズクラブの理念を体現するものであり、次の世代へとつながる大きな一歩となりました。今後も南宇和ライオンズクラブは、地域とともに歩み、より良い社会づくりに貢献してまいります。





高松LC 認証70周年記念式典

～春風のように人に接し、奉仕活動を進めたい～



本日は、高松ライオンズクラブ認証70周年記念式典に御臨席を賜り、誠にありがとうございます。

御来賓の皆さま、友好クラブの皆さま、そして日頃より私たちの活動を支えてくださっているすべての皆さまに、心より歓迎と感謝の意を表します。

高松ライオンズクラブは、1956年の結成以来、「We Serve(われわれは奉仕する)」の精神を礎に、地域に根ざした奉仕活動が続けてまいりました。70年という長きにわたり歩み重ねることができたのは、諸先輩方のたゆまぬ努力と、地域の皆さまの温かいご理解と御支援があってこそと、あらためて深く感謝しております。

この70年の間、社会や時代は大きく変化してきましたが、人と人とのつながりを大切に、地域のために何ができるかを考え、行動するという思いは、今も変わることなく受け継がれています。一つひとつの奉仕活動は決して派手なものではありませんが、その積み重ねが、高松ライオンズクラブの歴史となり、今日の70周年へとつながっています。

本日の記念式典は、これまでの歩みを振り返り、皆さまと喜びを分かち合うとともに、次の時代へ向けた新たな一歩を踏み出す場でもあります。どうぞ肩肘張

らず、式典、祝賀会のひとときをごゆっくりお楽しみいただきながら、高松ライオンズクラブの歩みとこれからへの思いを感じて頂ければ幸いです。



4R-1Z 高松LC

認証70周年記念大会委員長 天雲 千恵美



小豆島東LC 結成60周年記念式典

～今一度原点を振り返り、新たなスタートを切る～



2月8日、小豆島東ライオンズクラブ結成60周年記念式典を挙行了しました。336-A地区で一番端っこのクラブに、当日、会場の外は珍しく雪が舞う極寒の時期にわざわざ小豆島へ船で来てくれるのだろうか、いや、来てくれるだけで感激いっぱいの気分になりました。

姉妹クラブの茨木ローズLC、神戸長田LCも前日から参加され、前夜祭を設け、より一層の絆が出来ました。さて、本番当日、小雪舞う寒い日、フェリーに乗ってやってきた参加者を山の上にある会場まで送迎し全員揃ったところで一安心、後はプログラムに沿って式典、懇親会を滞りなく出来る限りのおもてなしで行こうと気合を入れて臨みました。今期に入り、新会員が数名入会し、それでも20名を少し超えた小さいクラブでは荷が重いかと全体を見渡しながらか最後まで見守っていましたが、参加者全員のご協力により無事終了しました。大勢の参加者がフェリーで帰るのを見送った後の達成感、疲労感が心地よく感じられまし

た。60年を超えたクラブ、今一度原点を振り返り、新たなスタートを切りました。持続、継続するもの、新規に取り組むものを様々な観点からより良いものを見つけ出し、ウィサーブの精神のもと、我々のライオンズクラブは地域の奉仕活動に全力で取り組んでまいります。皆様のご指導のほどよろしくお願いします。



4R-1Z 小豆島東LC 60周年委員長 石井 純一



高松フェニックス LC 結成 10 周年記念大会

～新たな一歩を踏み出す！次の 10 年に向けて～



令和8年6月6日、高松フェニックスライオンズクラブの結成10周年記念大会が盛大に行われました。336-A地区ガバナー L.向 和人をはじめ、多くの来賓、スポンサークラブ、同名クラブ、友好クラブそしてブラザークラブの皆様が全国から駆けつけていただき、会場は142名の参加で節目を祝う厳粛な空気に包まれました。

式典では、二見大会委員長がクラブ結成の思いと10年間の歩みを振り返り、続いて宮本会長が、支援を受けながら活動を積み重ねてきた感謝の気持ちを述べました。特に、特別支援学校を母体とする「高松しらうめレオクラブ」の結成や、ポッチャ交流大会、フェニックス茶会など、青少年支援を中心とした特色ある奉仕活動が紹介され、温かい共感の拍手が送られました。

来賓祝辞では、向ガバナーよりクラブの歩みが地域に確かな足跡を残してきたことが改めて示されました。また、記念事業として高松支援学校へポッチャ用ランプが贈呈され、笠井校長からは感謝の言葉が述べられました。

式典後の祝宴では、会員によるヴァイオリン、ピアノ

やボーカルが華を添え、同名クラブとの交流も深まり、終始和やかな雰囲気になりました。最後は力強いライオンズローアが響き渡り、次の10年へ向けた新たな一歩を全員で確認し合うひとときとなりました。



4R-1Z 高松フェニックスLC 10周年大会委員長 二見 尚子



八栗 LC 結成 45 周年記念式典

～キーワードは「地域活性化」～



5月10日(日)11:00より神明殿(高松市山崎町)にて、八栗ライオンズクラブ結成45周年記念式典を開催いたしました。

出席者は多田RCほかライオンズクラブ関係来賓6名、むれコミュニティ協議会 中村会長ほか2名、姉妹提携の倉敷天領LC、4R2Zを中心にブラザークラブの面々、我がクラブのメンバーを入れると全員で57名の会となりました。

会長挨拶では45年の八栗ライオンズクラブの歴史をお話した後、記念事業を菰渚大会委員長が発表しました。今回の記念事業のキーワードは「地域活性化」です。

- 1) デジタルサイネージを牟礼コミセンに寄贈
～住民に情報を映像で伝える
- 2) 第13回記念グラウンド・ゴルフ大会八栗ライオンズクラブ杯(368名参加)
～ライオンズクラブメンバーの大会を別途開催
- 3) 第一回シン・源平駅の支援～長距離ランナーを育てる
- 4) 「アジサイ花壇」改修(庵治町丸山峠)～半島美化の伝統を守る

祝宴では、ライオンズクラブメンバーのグラウンド・ゴルフ大会成績発表をしました。参加者は21名でしたが、初めてプレイされた方も成績は別にして楽しかったと好評でした。また、記念事業の様子をビデオで紹介しました。

こじんまりとした式典と祝宴でしたが、全員が和気あいあいとした楽しい式典になりました。



4R-2Z 八栗LC 会長 有岡 信次



うたづLC 結成 20 周年記念式典

～会員一丸となって、地域に必要とされるクラブを目指す～



うたづライオンズクラブは、本年結成20周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに、歴代会長をはじめ諸先輩方、地域の皆様、関係団体の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

私自身、クラブ在籍が浅く、5周年や10周年といった過去の節目を直接経験していません。しかし、この20周年を迎えるにあたり記念誌の制作やこれまでの活動を振り返る中で、先輩方が長年にわたり積み重ねてこられた奉仕の歴史と、地域との深い絆を強く感じる機会となりました。

当クラブでは、献血奉仕活動、環境美化活動、薬物乱用防止啓発活動、中讃柔道選手権大会への支援など、地域に根ざした活動を継続しております。近年は、子ども食堂支援にも力を注ぎ、子どもたちが安心して集える居場所づくりにも取り組んでまいりました。

20周年は、これまでの歩みを振り返る節目であると同時に

に、新たなスタートでもあります。これからも「We Serve」の精神を大切にしながら、地域に必要とされるクラブを目指し、会員一丸となって奉仕活動を続けてまいります。



5R-1Z うたづLC 会長 久米井 直人



高知 LC 結成 70 周年記念特別例会

～地域社会に必要とされるクラブであり続けるために、貢献の輪を広げていく～



この度、高知ライオンズクラブが結成70周年という大きな節目を迎え、記念特別例会を無事に開催できましたことを、心より嬉しく思います。長年にわたり当クラブの活動を支えてくださった地域の皆様、ご来賓の方々、そしてすべての関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

特に印象に残っている事は、準備に約一年かけ理事メンバー全員でアイデアを出し合い毎月、執り行われる実行委員会のなかで、参加いただけるゲストの皆様とにかく楽しんでもらい満足していただける内容に構築していくかを非常に悩み、少し進んでは戻りを繰り返し調整してきた事です。

また、会長幹事会では登録費が高いとのご指摘を受け、またそのことをクラブに持ち帰り検討をしながら、会場での設えの変更などとにかく忙しく動き、なんとかゲストをお迎え出来るよう準備ができたことは、会員メンバー皆さんの多大なる協力と各クラブのご理解、ご協力があったの事だと、心より感謝しております。本当にありがとうございました。

式典では、70年という歴史の重みを感じ、諸先輩方が築き上げてきた「奉仕の心」の尊さを改めて実感いたしました。特に、世代を超えて受け継がれる「We Serve」の精神が、今の私たちの活動の礎になっていることを確信しました。また、姉妹クラブの皆様をお迎えし、親睦を深める中で、ライオン

ズクラブの持つ「絆」の強さを再認識しました。

この70周年を一つの通過点とし、今後も地域社会に必要とされるクラブであり続けるために、会員一同、新たな気持ちで奉仕活動に邁進する所存です。次の75年、100年に向けて、より一層地域貢献の輪を広げていきたいと思ひます。

この大きな節目に関わらせていただいたことに感謝し、結びの挨拶とさせていただきます。



6R-1Z 高知LC 会長 小原 一将



土佐 LC 結成 60 周年記念式典

～夢、希望、そして未来をきりひらく事業を～



3月29日、私達土佐ライオンズクラブは結成60周年記念式典を挙行政致しました。年度末にもかかわらず、向地区ガバナーをはじめ、多くの地区役員・委員の方々、ブラザークラブの皆様方、そして遠く北海道より江別ライオンズクラブの皆様方にもご出席いただき、盛大に開催することが出来ました。

式典は、滞りなく進行され、心配されました時間配分も何とか5分程の超過に収まり、安堵致しました。

記念事業は、「夢かなえ事業」として、子ども達から寄せられた夢の実現に取り組みました。今時の子ども達らしい夢がたくさん寄せられ、出来るだけ叶えてあげたいと奔走いたしました。スケジュール調整などが叶わず断念した夢もありました。そんな中で、「柴田ケイコさんとの対談」と「和菓子作りの体験」の2つの夢を実現することとなり、1つは早々に取り組むことが出来、もう1つは来年2月の実施となります。子ども達の夢を少しでも叶えることが出来たかなと思っています。

また祝宴は、コロナ禍で縮小を余儀なくされた5年前の鬱憤を晴らすかのように、会場は終始大盛り上がりとなりました。

ただ一つ残念なことは、式典開催直前に立て続けに

2名の会員が逝去されたことであります。きっとお二方ともどこからか目を細めて、この記念式典を見て下さっていたであろうと思っております。次の70年、80年に向かって、会員一同邁進していきたいと心に誓う、そんな式典となりました。



6R-2Z 土佐LC 会長 笹岡 希吉



高知黒潮 LC 結成 65 周年記念式典

～華やかさよりもライオンズクラブらしいアクティビティを大切に～



65周年の会長を拝命し、何から始めればよいのか分からず、頭を悩ませるところからのスタートでした。まず、記念事業は日頃よりお世話になっている盲学校や昭光園へ、普段なかなか購入できない必要な物品を寄贈することを決定しました。その後、天使園および昭光園の生徒の皆さんを招き、思い出に残るひとときをプレゼントしようと考えました。筆山から花火を打ち上げ、みんなで観覧しながら食事を楽しむ、そんな楽しい一夜を計画しました。準備が進み、開催まであと1か月という時期に、高知市消防局より中止要請がありました。今年は雨が少なく、予防散水も十分にできない状況であったため、苦渋の決断ではありましたが、花火は断念せざるを得ませんでした。しかし、この出来事をきっかけに、記念式典終了後の祝宴と記念事業を同時開催する案が生まれました。そして、会員や三翠園のホールスタッフと入念な打ち合わせを重ねた結果、シンガーソングライターのう～みさん、マジシャンのTokyo Tomoさんをお招きすることで、天使園および昭光園の生徒の皆さんに楽しいひとときをプレゼントすることができました。

また、青少年育成事業として、高知土佐女子高等学校放送部・吹奏楽部の皆さんにも参加していただき、200名を超える来場者の前で日頃の成果を披露していただきました。これほど大勢の前で発表する機会はその多くないと思います。ライオンズクラブとして、彼女たちの可能性を広げる一助になれたのであれば

幸いです。

私たちの65周年は、華やかさよりもライオンズクラブらしいアクティビティを大切に、クラブ員全員で力を合わせて作り上げた周年事業となりました。

最後になりますが、今回の65周年事業に携わっていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。そして、高知黒潮ライオンズクラブが今後も発展を続け、70周年、75周年を迎えられることを心より祈念いたします。



7R-2Z 高知黒潮LC 第65期会長 大野 賢二



徳島マリンピアLC 結成 30 周年記念大会

～クラブ一丸となって奉仕の輪を広げてゆく～



徳島マリンピアライオンズクラブは、このたび創立30周年を迎え、記念式典および祝賀会を開催いたしました。当日は、徳島県副知事志田敏郎様、徳島市長遠藤彰良様、ライオンズクラブ国際協会336-A地区向ガバナー様をはじめ、多くのライオンズメンバーならびに関係者の皆様にご臨席を賜りました。

また、姉妹クラブであるソウル開浦ライオンズクラブの皆様にも遠路韓国よりご参加いただき、長年にわたり培ってきた友情と信頼の絆を改めて確信する貴重な機会となりました。

記念式典では、クラブ創立から30年の歩みを振り返るとともに、歴代会長をはじめ諸先輩方のご尽力、地域の皆様の温かいご支援に対し感謝の意を表しました。そして、We Serveの精神を受け継ぎながら、これからも地域社会に貢献する奉仕活動に取り組んでいく決意を新たにいたしました。

続いて開催された祝賀会では、華やかなフラメンコショーが披露され、情熱あふれる踊りと音楽に会場は大いに魅了されました。参加者同士の交流も一層深まり、終始和やかな雰囲気の中で笑顔あふれるひと時となりました。

おかげをもちまして、記念式典、祝賀会、アトラクションのいずれも大成功のうちにおえることができました。30周年という大きな節目をむかえられましたことに深く感謝申し上げます。

るとともに、今後もクラブ一丸となって奉仕の輪を広げ、地域社会の発展に尽力してまいります。皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、司会進行役の宗石L、大村L、山田L、映像担当の岡田L、お疲れ様でした。

ありがとうございました。



8R-1Z 徳島マリンピアLC 大会委員長 仁木 孝教

新たな若々しいライオンズクラブが高松に誕生

高松がらんライオンズクラブ ～チャーターナイトを賑やかに開催～

2026年6月7日、リーガホテルゼスト高松にて、高松がらんライオンズクラブの認証状伝達式が賑やかに開催されました。

高松がらんライオンズクラブは、高松葵ライオンズクラブをスポンサークラブとし、傘下の二つのクラブ支部を母体に、新たな会員の皆様を集結されて、2026年3月29日に結成されました。

4月28日に、ライオンズクラブ国際協会より認証を受けられ、認証状伝達式が賑やかに執り行なわれたものです。

結成メンバーは41名、平均会員年齢は52歳と、若々しい力にあふれるライオンズクラブが高松に誕生しました。

クラブスローガンは「若い力で夢にむかって We Serve」

稲毛恵美子会長は御挨拶の中で、御自身のライオンズクラブの経歴を振り返られながら、活気あふれる新会員の皆様と共に、時代の変化に即した新しいライオンズクラブを目指して行きたいとお話しされていました。

川田博文大会委員長からは、今年2月まで、新ライオンズクラブ結成のお話しは全く無かったが、二つのクラブ支部を母体として新ライオンズクラブを結成してはとのお話しを周りの方々

から頂き、急速新クラブ結成に至ったとの御説明がありました。結成に至る経緯の中で、これまでライオンズクラブの経験の少ない、若い方々にもお集まりいただけたとお話しがありました。クラブ名称のがらん(伽藍=清浄で清閑な場所)には新しい力が集うようにとの期待が込められているとお話しがありました。

スポンサークラブの高松葵ライオンズクラブのスポンサーメンバー樋口高良様からは、ライオンズクラブらしい寛容の精神で新たな高松がらんライオンズを送り出したいとお話しがありました。

式典・祝宴では、向 和人 336-A地区ガバナー、大西秀人高松市長代理・蓮井博美副市長、池田豊人香川県知事のお祝いの挨拶があり、着物ファッションショー、ライオンズダンス、沖縄民謡ライブの踊りの渦の中で、認証状伝達式は盛会のうちに閉幕となりました。

高松がらんライオンズクラブの皆様の益々の御発展をお祈りいたします。



地区誌編集委員・高松ライオンズクラブ 岡田 行雄

336-A 地区会員現況

期 間：2025 年 7 月度～2026 年 4 月度

R	Z	クラブ名	期首	4月末	増減	家族会員
1	1	松山ホスト	29	29	0	0
		松山東	52	55	3	0
		砥部	48	48	0	10
		松山つばき	51	51	0	35
		松山城山	50	54	4	0
		Z小計	230	237	7	45
	2	松山道後	56	67	11	0
		伊予	47	47	0	0
		松山西	60	57	-3	11
		松前	20	19	-1	0
		松山北	26	29	3	6
		松山湯築	43	45	2	2
		松山城東	23	24	1	0
		Z小計	275	288	13	19
	3	松山中央	107	106	-1	0
		松山南	38	39	1	0
		松山金亀	55	53	-2	4
		松山白鷺	66	68	2	0
		松山センチュリー	35	37	2	5
		Z小計	301	303	2	9
	R合計		806	828	22	73
2	1	新居浜	54	57	3	2
		新居浜中央	12	11	-1	0
		新居浜別子	35	35	0	2
		新居浜ひうち	56	55	-1	0
		Z小計	157	158	1	4
	2	今治	59	59	0	5
		今治中央	50	49	-1	0
		今治東	38	36	-2	2
		今治くるしま	33	33	0	2
		Z小計	180	177	-3	9
	3	伊予三島	33	35	2	1
		川之江	36	40	4	9
		伊予土居	55	57	2	14
		四国中央法皇	33	33	0	2
		川之江中央	18	16	-2	0
		Z小計	175	181	6	26
	4	西条	67	70	3	23
		東予	43	43	0	8
		伊予小松	12	12	0	0
		西条石鎚	41	36	-5	8
		Z小計	163	161	-2	39
	R合計		675	677	2	78
3	1	八幡浜	39	40	1	0
		大洲	39	38	-1	0
		三瓶	13	13	0	0
		内子	39	39	0	16
		伊方	32	33	1	0
		八幡浜みなと	35	34	-1	0
		Z小計	197	197	0	16
	2	宇和島	43	43	0	0
		宇和	42	40	-2	10
		伊予吉田	16	17	1	0
		南宇和	32	30	-2	4
		野村	14	14	0	0
	3	鬼北	28	35	7	5
		Z小計	175	179	4	19
		R合計	372	376	4	35

R	Z	クラブ名	期首	4月末	増減	家族会員
4	1	高松	21	28	7	0
		小豆島	49	49	0	11
		小豆島東	24	23	-1	0
		高松葵	48	29	-19	4
		高松南	18	19	1	7
		高松フェニックス	24	24	0	5
		高松がらん	0	33	33	0
	Z小計	184	205	21	27	
	2	高松東	43	41	-2	7
		高松西	58	61	3	12
		直島	22	21	-1	0
		八栗	22	21	-1	7
		高松源平	31	31	0	7
	Z小計	176	175	-1	33	
	3	東かがわ	31	30	-1	9
		長尾	28	28	0	0
		志度	61	50	-11	15
		三木さめき	25	20	-5	4
		さめき未来	23	17	-6	2
		Z小計	168	145	-23	30
	4	高松玉藻	23	25	2	8
		高松栗林	32	35	3	1
		高松紫雲	54	51	-3	13
		高松空港	18	18	0	0
		高松北	24	25	1	5
		Z小計	151	154	3	27
	R合計		679	679	0	117
5	1	丸亀	87	93	6	0
		坂出	30	32	2	4
		坂出白峰	119	120	1	61
		綾歌郡	22	22	0	6
		丸亀京極	53	51	-2	18
		うたづ	35	38	3	10
		坂出シニア	22	21	-1	0
		坂出中央みらい	20	20	0	0
	Z小計	388	397	9	99	
	2	観音寺	46	47	1	0
		善通寺	37	43	6	3
		多度津	56	59	3	20
		三豊	40	41	1	0
		こんぴら	44	45	1	22
観音寺中央		17	16	-1	0	
Z小計	240	251	11	45		
R合計		628	648	20	144	
6	1	高知	81	75	-6	17
		高知柏	55	56	1	14
		高知東	38	38	0	9
		高知北	35	36	1	14
		高知桜	38	39	1	9
		Z小計	247	244	-3	63
	2	須崎	23	23	0	0
		土佐	45	43	-2	0
		伊野	26	27	1	6
		佐川越知	16	14	-2	3
		中土佐	18	17	-1	0
		Z小計	128	124	-4	9
	3	四万十	49	48	-1	0
		土佐清水	34	33	-1	0
		宿毛	14	15	1	0
		大方	20	20	0	3
	Z小計	117	116	-1	3	
	R合計		492	484	-8	75

* 2026年4月末時点でのServannAでの月別会員数となります。
ServannAと国際協会のMyLCIとは切斷されているため情報の反映に時差が生じています。

* 会員退会数には以下のクラブの物故会員も含まれております。
伊予1名、松山湯築1名、松山南1名、松山白鷺1名、松山金亀1名、新居浜2名、今治くるしま2名、伊予三島1名、四国中央法皇1名、西条石鎚3名、宇和1名、南宇和1名、高松西1名、高松紫雲1名、丸亀京極2名、高知1名、須崎1名、土佐2名、四万十2名、土佐清水1名、高知鷹城2名、高知鏡川1名、土佐山田1名、土佐本山1名、高知よさこい1名、高知桂1名、徳島マリンピア1名、土成1名、阿波1名

物故会員



① 森澤 豊明 (99 歳)
② 6R-2Z 土佐
③ 2026 年 3 月 22 日



① 宮脇 淑浩 (63 歳)
② 6R-2Z 土佐
③ 2026 年 3 月 24 日



① 丸山 要 (68 歳)
② 2R-2Z 今治くるしま
③ 2026 年 3 月 25 日



① 三好 隆一 (59 歳)
② 3R-2Z 宇和
③ 2026 年 3 月 28 日



① 井上 博之 (95 歳)
② 6R-3Z 四万十
③ 2026 年 3 月 30 日



① 花山 元英 (45 歳)
② 1R-3Z 松山白鷺
③ 2026 年 4 月 8 日



① 石川 英樹 (54 歳)
② 2R-3Z 伊予三島
③ 2026 年 4 月 10 日



① 村上 暁 (83 歳)
② 2R-2Z 今治くるしま
③ 2026 年 4 月 22 日



① 泉 正紀 (90 歳)
② 1R-2Z 伊予
③ 2026 年 4 月 22 日



① 七條 章 (90 歳)
② 4R-1Z 高松
③ 2026 年 5 月 3 日

①氏名・満年齢 ②LC 名

③没年月日 (2026 年 3 月 15 日~2026 年 5 月 20 日)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

向 和人地区ガバナーを筆頭に茶谷 M・地区誌・Digital 委員長のもと、7R-M・地区誌・Digital 委員として、微力ながら一年間務めさせていただきま

した。委員会に於いて強く要望いたしました LCIF の情報が地区誌に特集されたことは委員としては心に残り達成感を感じています。

7R M・地区誌・Digital 委員 上森 康玄

今回初めて地区誌に関わらせていただいて大変勉強になりました。そして地区委員としてたくさんのご縁をいただきました。四国は山ばかりで近いようで遠い四県、ライオンズの強い絆と友情で四国をひとつにしていきましょう!!

8R M・地区誌・Digital 委員 森 博美

M・地区誌・デジタル委員会の委員としての一年間の任期を終え、振り返ってみると、広報・情報発信の現場には、想像していた以上の工夫とチームワークが必要だと感じました。地区誌づくりやデジタルでの情報発信を通じて、336-A 地区の多彩な活動を学び、自分自身の視野も大きく広がったと思います。至らない点も多々あったかと思いますが、温かく支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました。ここで得た経験をこれからも活かしながら、違う立場からではありますが、地区の広報・情報発信を応援していければうれしく思います。

9R M・地区誌・Digital 委員 中川 靖浩

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区公式サイト 地区誌ページ ▶▶▶

地区誌のバックナンバーをご覧になれます。



336-A地区 第73回 地区年次大会 新居浜大会

開催地 | 新居浜市

大会
スローガン

四国はひとつ!

よいよえーぞな“あかがねの町”
みんなそろってこんかいやー!

とき 2027年

4月4日(日)

※前日4月3日(土)は
記念ゴルフ大会を予定

ところ

新居浜市文化センター

ご挨拶

ライオンズクラブの皆様、こんにちは。第73回地区年次大会実行委員長を務めさせていただきます、新居浜ひうちライオンズクラブ所属の永井健之でございます。2027年4月、実に25年ぶり(四半世紀ぶり)となる新居浜市での開催を控え、私たちは大きな興奮と喜びに包まれています。

新居浜市は、かつて日本を支えた別子銅山の歴史が息づく「工都」であり、住友グループと共に歩んできた長い伝統の上に成り立つ街です。秋には豪華絢爛な太鼓台が街を練り歩く、情熱あふれる「祭りの街」でもあります。瀬戸内の穏やかな海と、四国山地の雄大な緑に囲まれたこの地は、訪れる人を包み込む温かさで力強いエネルギーに満ちています。

本大会は、昭和37年建設の歴史ある「伝統」の象徴、新居浜文化センターを舞台に開催されます。篠原次期ガバナーが掲げる「伝統と革新」、そして「心意気を持って We Serve」というスローガンのもと、私たちは先人たちの情熱を受け継ぎ、ライオンズの精神を次世代へと繋ぐ「革新」への第一歩を刻みたいと考えています。

歴史ある銅山の遺産、瀬戸内の豊かな旬の味覚、そして何より2Rのメンバーによる「最高のおもてなしの心意気」をぜひ肌で感じてください。桜舞う新居浜で、皆様と笑顔で再会できることを心より楽しみにしております。

新居浜市の魅力



別子銅山と住友の歴史

1691年の開坑以来、約300年にわたり日本の近代化を支えた別子銅山。住友グループとともに歩んできたこの街には、今もなおその歴史と誇りが息づいています。



別子銅山 東平地区



住友化学工業(株) 旧瑞出場水力発電所



新居浜太鼓祭り

毎年10月に開催される豪華絢爛な太鼓祭り。重さ数トンの太鼓台が勇壮に練り歩く姿は圧巻で、新居浜の「心意気」を象徴しています。



実行委員会メンバー



大会事務局次長
三木 悠司
(新居浜LC)



大会事務局次長
吉岡 直輝
(新居浜別子LC)



大会統括委員長
伊藤 龍一
(新居浜LC)



地区年次大会大会委員長
永井 健之
(ながい たけし)
(新居浜ひうちLC)



大会事務局次長
伊藤 謙司
(新居浜別子LC)



大会事務局次長
永易 政良
(新居浜ひうちLC)



大会会計
直野 誠司
(新居浜ひうちLC)

大会に関する
お問い合わせ

第73回地区年次大会 新居浜大会 実行委員会
〒792-0007
愛媛県新居浜市前田町6-9
TEL: 0897-47-8030 FAX: 0897-47-8035
E-mail: niihamacab@lci336a.org

心意気を持って
We Serve



We Serve

2025～2026年度
ライオンズ国際協会
336-A地区 徳島キャビネット事務局
〒770-0923 徳島市大道4丁目45-2
オレンジビル3階
tel 088-624-5522 fax 088-678-2569
mail: tokushimacab@lci336a.org



<https://lci336a.org>

地区誌 四国 4・5・6月
2026年・第134号 No.4

・発行日 令和8年6月25日
・発行所 336-A地区 徳島キャビネット事務局
・発行人 向 和人
・企画編集 M・地区誌・Digital委員会
・印刷 (有) 企画室ロイヤル・サービス